京城日報
十四日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
印刷人 小川三之介

獨逸東漸と極東

▲西伯利出兵と我政府の態度

露獨單獨講和に伴ひ當然實現す可き西伯利亞出兵問題に關し我政府は過般來英、佛、伊三國政府と交渉を重ね又米國政府に對しては英國政府を通じて其意嚮を照會したるが英、佛、伊の三國政府は直に其態度を決定し無條件にて我國の西伯利亞出兵に賛同する旨回答し來りたるが單り米國は獨勢力東漸の結果西伯利亞に禍害發生せんとする場合を除きそれ以前に出兵するは露國民に對する敵對行爲と云ふ可く是れに對しては主義として賛同する能はざる旨明答を與へ英國政府より右の旨を我政府に通達し來れりされど聯合與國の露國に對する態度は全く明瞭と爲れるより是れに關し我政府の態度を決す可く別電の如く元老會議の開會を見るもの也と(東京特電)

▲元老會議開會

既報の如く山縣公は十三日入京し松方侯は十五日入京す可く十八日 陛下還幸後十九、二十の兩日内に西園寺侯、大隈侯を加へ重要なる元老會議を開かる可し(東京特電)

▲ミ太公逮捕さる

露國ミカイル太公は帝政復活の陰謀露見し逮捕されたり(合同通信電報)

▲伊國大使抑留か

米國大使は十二日の莫斯科總會の結果を見る迄は當地に留るべし英佛大使の引揚げは國境に於て嚴重なる檢査を受け特に伊太利大使は人員上の齟齬より抑留されたりと(ナオログ發電報)

▲内田大使オ市著

内田大使一行の搭乘せる列車九日朝オムスクに到著せり(哈爾賓特電)

▲大使通過とセ大尉

内田大使の行程に關し哈爾賓滿鐵公所よりの照會に對し在滿洲里セミョノフ大尉は左の如き返電を寄せたり

予は過激派に交渉せしことなし又た列車通過に關する相談を受けたることなし滿洲里の通過は最近の徑路なるを以て大使の通過を希望すと雖も自分より過激派に對し交渉すること可能と認むる能はず但し自分の勢力内に於ける線路は修理中なり依て先づ貴電の通り二十日頃大使は哈爾賓著の見込也(共同著電)

▲佛兵哈市に向ふ

北京駐屯佛蘭西兵は將校引率の下に彈藥大砲を携帶し最近秘密に哈爾賓に向ひたるが是れ協商側の承諾を受け過激派に當らんが爲なり(北京特電)

支那の形勢

▲岳州總攻撃開始

十二日より岳州總攻撃開始され南軍退却しつゝあり(北京電報)

▲北伐司令官任命

顧品珍氏は北伐司令官に任命されたり(上海電報)

▲在京奉天軍人氣

北京に於ける奉天軍は一般の氣受け頗る好く張督軍は得意の色あり(北京特電)

◎制限令と輸入品

過回米國政府の發布したる貿易制限令は日本輸入品に對しては適用されざる樣修正さる可しと(東京電報)

◎阪谷男顧問決定

阪谷芳郎男は愈々支那最高財政顧問たるに決定し居りしに最近支那政府より公式に右委囑の回答ありたるを以て近く赴任す可し(東京特電)

◎白仁長官赴任

新任白仁製鐵所長官は十四日午前五時半下關著少憩の後渡門し服部次長其他各課長の出迎を受け同八時四十分門司發列車にて赴任せり(門司特電)

◎鮮米格附確定に就て 東京取引所の措置は當然

東京米穀取引所に於ては今回鮮米を格外表中に加入する事となり一等鮮米を

▲秋田中米 より二階級落ち乃ち石二十八錢落ちとなすべく主務省に認可申請中なる旨東京電報は報じ來れるが右に付某有力者の談に曰く東京取引所の定期受渡米に鮮米を加入する事となりたるは(一)朝鮮米移出檢査勵行の結果米質の改善顯著となりし事(二)米價調節策より來れるものならん、然も一ハ鮮米のため大に喜ぶべき事にて從來全く定期受渡し米として顧みられざりし鮮米が其の格附表中に入りしは假へば力士が幕下より幕内に進める如きもの也、然れども現在内地種鮮米の

▲改善狀態 は顯著なるものにて東京取引所が此の措置をとるに至れるは當然とすべく寧ろ遲きに過ぐる觀もあるなり又米價調節上より見るも受渡し米の範圍を擴張する事は標準米の値上りを防ぐに力あり幾干か效果あらん更に鮮米として東京より一層密接の關係ある大阪取引所に於て此事なきは寧ろ予等の遺憾とする所なれども

▲大阪取引所 を初め各地取引所も之れに倣ふ事となるべきが右に就て一層在鮮米作者に優良米の産出に努力する必要あるべし京取引所が先づ鮮米の優待法を講ずるに至りたれば

◎亞露近況

▼支軍反過激派擁護 滿洲里驛附近に集中せる支那軍隊は相當多數にしてマチエフスカヤ附近に塹壕を築造し同地を根據として赤衞隊約七千の兵と相對時し居れるが赤衞隊司令部にては軍使を派し支那官憲にセミノフ大尉の引渡を要求せるに支那當事者はこれに應へて我支那軍隊はこれより以南一歩も赤衞隊の踏入るを許さず且我軍隊は赤衞隊とセミョノフ隊との間に介在して一歩も動くことなかるべき旨を以てしたり

▼支那軍隊茲に在り 滿洲里通信によれば滿洲里北方に過激派軍隊の接近し來れるを知りたるより同地住民は茲に大恐慌を惹起し先を爭うて南の方ハイラル及び哈爾賓方面へ避難せむとし非常に混亂の狀を呈せるが同驛にては午前午後の二列車に殊に多數の客車を聯結して運轉せるも尚且各列車とも滿員にて到底滿足なる輸送をなし能はず而して避難者の大多數は婦人及び子供なりと尚同驛にては支那軍隊は如何なることあるも鐵道線路内に過激派軍の侵入を防禦すべきにより安んじて可なる旨を告示せりと一露字新聞は報せり

▼商議會頭以下釋放 浦鹽勞兵會は曩に同地商業會議所會頭チンメルマン氏を始め同所議員を拘禁したるが今回是等全部を釋放せるも尚税關人夫請負人等は拘禁中なりと

◎日露貿易近況

日露協會の調査に據れば本年一月中露國貿易重要輸出入品に關する日露輸出品價格通計百一萬四千七百八十九圓再輸出品價一千四百三十圓十九圓にして輸入品價通計十四萬三千七十四圓再輸入品價四千三百

▲輸出全計 百一萬六千二百十圓輸入全計十四萬七千三百八十四圓を算せり而して之を前月に對比すれば輸出全計に於て百八十九萬六千二百八十五圓輸入全計に於て二十六萬三千九十五圓の孰れも減少を示し更に之を前年同期に對比するに輸出全計に於て五百十萬三千百圓輸入全計に於て二千二百七十三圓の孰れも減少を示せり今當月中輸出品の重なる物を見るに

▲鐵製品 の十六萬五千餘圓靴の十五萬餘圓、銅(塊及び錠)の十二萬四千餘圓蜜柑の二萬餘圓等にして輸入品に在りては豆類の二萬三千餘圓雜品の九萬餘圓小包郵便物の二萬九千餘圓に過ぎず孰れにしても一月中日露貿易狀況は不振にして之を前月若しくは前年同期に對比すれば時局の影響を受けて著しき貿易額の減少を見たり

◎水産主任打合會(第四日)

道水産主任打合會最終日たる第四日は十四日午前九時三十分總督府第二會議室に於て小原殖產局長官統裁の下に開會午前午後に亙り注意事項に就て打合せを爲し午後三時散會せり

◎新航調査

總督府にて目下航行を命令し居る朝鮮郵船會社の朝鮮沿岸航路並に門司北鮮線元山浦鹽線等は大正八年度を以て

▲命令期滿了 し又近く朝鮮郵船會社に命令すべき日本海橫斷航路も大正七年並に八年の二箇年間繼續補助費を豫算に計上し居るのみに付要するに大正九年度より朝鮮沿岸航路並に朝鮮と浦鹽、北地の命令航路は新に之れを定むる必要あり又支那方面にも命令航路擴張の議あるやにて主務官廳にては此の意味に於ける新航路計畫に付調査を怠らず一方鮮内各商業會議所等に就き新航路に對する希望の開陳を求めつゝあるが何分

▲大正九年度 より更改する豫算は大正八年の夏期までに此の編成を了せざる可らざるに付其の大體計畫は少くも大正七年度中に纏めらるべく其の結果の如きは素より今日に於て豫測を許さゞるも併合以來の航行成績により朝鮮沿岸航路にも多少の變改を見るは當然とすべく更に目下朝鮮郵船會社が自營にて經營しつゝある北支那航路の如きは命令航路に改めらるべしとも稱せられつゝあり

◎橫斷就航船

朝鮮郵船會社にて近く受命の上經營すべき日本海橫斷航路の就航船は二千噸級との指定を受くる事となり居れるも目下同社には二千噸級船なきを以て當分平壤丸(一千二百噸)を就航せしむる意向なるも右は一時的の意味にて遠からず新造註文か若くは買船により二千噸級船を入手就航せしむべく確定航路に付割高の傭船料を支拂ひ傭入をなす事はせざるべしと

◎浦鹽航路積荷

朝鮮郵船會社の浦鹽航路は三月中旬より開航する事に決定したるが往航の積荷は日露國交斷絶となり在浦日本人並に鮮人の引揚げを見ざる限り其の食用米の積出し並に日用品若干量ある見込みなるも其の代金の回收は露國輸出爲替禁止並に留の現送不許可となれる今日とて結局商人は物々交換の方途に出づる外なき見込みにて目下の所大豆豆粕等を代價だけ復航に積み込む事は可能ならんとの事也

◎鮮鐵荷動概況

二月中に於ける朝鮮鐵道荷動狀況を聞くに發送噸數十七萬四千五百五十八噸收入五十三萬百二十六圓之を前年同期に比較するときは數量に於て二萬六千二百五十五噸(一割七分八厘)收入に於て十二萬二千八百九十二圓(四割)の增加を示せり今其の出荷の主なるものを擧ぐれば左の如し

米	二九、三四四	石炭	一七、〇四二
大豆	一三、四三三	鹽	一一、三〇一
木材	九、二二六	雜穀	六、三八八
鐵鑛石	四、五〇一	鮮魚	四、三二八
木炭	三、一二一	[illegible]	二、九〇四
[illegible]	二、三二九	肥料	一、八五六
石材	一、四七六	明太魚	一、三二一
煉瓦	一、二八七	石油	一、〇〇二
セメント	一、〇〇〇	黑鉛	九八八

此の内主要貨物の出荷狀況は

▲米 前年に於ける内地收穫高の豫想或は京阪に於ける買占事件の勃發等により内地市場に於る米價は前月末來益々强氣配を呈し再來上げ足鈍き歩調を示しながらも一歩々々に新値を追ひて月頭遂に未曾有の高値を唱ふるに至り個々當局の買收額發表及び外米輸入關税の低減或は撤廢運動說等にて幾分落下したりと雖依然底意を强硬にして爲めに鮮米も取引頗る活況を呈し恰も月初舊正月に相當し鮮人商取引の中止及び人夫の休業とにより出荷一時減殺されたるも輸送數量は前月に引續き主要貨物中第一位を占め前年同期に比し四千三十五噸の激增を示せり其の著しきものを擧ぐれば釜山の八千六百九十七噸を第一とし仁川の五千八百二十二噸群山の四千十一噸南大門の二千三百五十噸木浦の一千八十八噸鎭南浦の一千十七噸等として龜浦、慶山、大邱、倭館、金泉、平澤、鳥山、禮里、泰仁を主なるものとす

▲石炭 前月中輸送難況を極めたる本品は需要の爲め供給不足を告げ爲めに炭價は强調を持せり本月に入りても貯炭依然として少く而も一般の需要は益增進し輸送は前月に比し五千四百九十一噸を增加せり其荷動狀況を見るに平壤發の南浦行無煙炭は前月末來輸送を中止したる爲め[illegible]不振に終り漸く三千百六十二噸を出荷したるのみ然れども月央モンド瓦斯試料として甲拓託送撫順無煙炭一千五百九十六噸の輸送あり尚京龍著撫炭も亦相當の出荷あり總數に於て七千七百七十四噸に達せり

▲大豆 鮮農民の資金潤澤なると産地に於ける本品の相場は需要期既に迫りたるを以て先高を見越し方外の高値を唱へて賣惜みの狀態にあり内地市場又在荷拂底勝にて相場は自然强硬を保ちたり然れども輸送力不足の爲前年末來契約濟のもの各地に停滯多量あり爲めに本月中の輸送數量一萬三千三百四十三噸を算し前年に比し約十二割の激增を示せる前月と大差なく引續き好況を呈せり卽ち前年同期に比し五千五百十七噸の增加にして内地直通輸送數量六千五百三十七噸釜山打切扱約五千噸に達せり發驛として慶山倭館天安平澤水原沙里院新安州車輦館新義州を其の主なるものとす

要するに本月中の貨物運輸は月頭に於て内地行及び鮮内發著を合し約八萬噸の滯貨を算し加ふるに相場の昂騰に連れ穀類の取引活況を呈し從つて多大の增加を示せり而も一方輸送力は不足勝にして殊に内地行は鐵道院線の輸送力捗々しからず月末尙七萬餘噸の停滯を已むなからしめたり卽ち前年に比し數量二萬六千三百餘噸收入四割を激增し良好なる成績を擧げたり

◎浦鹽特派記者出發

東露の眞相は混沌として分明ならず歐洲中央同盟國の魔手は今や極東に伸びんとす茲に於てか對露出兵說囂々として盛んに起り同時に世人の知らんと欲するものは現時西伯利の眞相にあり此時此際我社は時局に對し特に在哈爾賓長春の社員を督勵し努めて其の眞相を得さしめんとしつゝあるは愛讀者各位の知悉する處なるも更らに今回

記者 西村滿藏

を浦鹽に特派し對浦經濟に將又其他萬般に亘つて詳細の調査觀察をなさしめ電報に通信に之が眞相を報道せしめんとす之れ卽ち我社の江湖に對する微衷に外ならず而して西村記者は既に十四日午前京城を發し同夜直に元山より浦鹽に向つて出發せり數日ならずして其の報道の紙上に躍如たるものあるべし

京城日報社

◎京城最近商況

鮮銀調査二月中京城金融概況を聞くに大豆は農家賣惜み出廻り尠きに加ふるに内地より買註文の頻到及び出兵問題に關聯する北滿大豆相場の昂騰に連れ

▲鰻上り に奔騰を來し十六七圓臺を唱ふるに至れり米穀も如上諸種の原因に伴ふ大豆雜穀商と相俟て騰貴一方の徑路を辿り目先益々昂騰の趨勢を示しつゝあり棉糸布に至りても印度方面の不作或は時局の影響を受けたる輸入原棉の不足なるに加之内地市場より支那印度方面への輸出尠からざると一方近年内地一般にこれ等の需要增加したるため是亦奔騰躍進の狀を呈し近時

▲綿糸布 諸輸入品の暴騰は鮮人側の購買力に伴はずして一般消費力減退の傾向を示すに至り諸仕入品一騰に手控の氣味にあるが如くにて商節季に際しても此種の荷動餘り多からざりしが米豆貿付資金の需要は相當喚起したりしも未だ金融の大勢を動すに足らず保合の姿を以て當月を經過せり

◎鮮滿書記長會議(第三日)

既報の如く鮮滿商業會議所書記長會議は第二日(十三日)を以つて各所よりの提出議案全部を議了し同時に朝鮮商業會議所聯合會及び鮮滿商業會議所聯合會の組織を見各々其の規則案の編成を了せるが十四日は午前中商品陳列館中央試驗所李王職博物館其他市況視察を爲し終て朝鮮ホテルに於ける東拓の午餐會に列し午後纛島模範場を視察し同六時半より千代本の三井物產招待會に臨み茲に今期書記長の會同を解きたるが年來鮮滿各地商工業者の希望せる鮮滿商業會議所聯合會の成立を見たるは慶ぶべき事と謂ふべく其の規則(案)左の如し

●滿鮮商業會議所聯合會規則(案)

第一條 本會は滿鮮商業會議所聯合會と稱し事務所を大連及京城に設く

第二條 本會は聯合各會議所を以て組織す但し二會議所以上の紹介に依り總會に於て承認したる實業團體を入會せしむることを得

第三條 本會は商業會議所の任務に關する事項を審議し其可決事項の實行を圖るを以て目的とす

第四條 聯合各會議所の代表委員の定數は各一名とす

前項代表委員の外有志議員を參加せしむることを得

第五條 本會は聯合各會議所中二分の一以上の發意するにあらざれば開會することを得ず

第六條 本會は開會毎に出席委員中より正副會長各一名を互選し議事の整理及開會中に於ける事務の統轄を委任す

第七條 本會は聯合各會議所中五箇所以上の發議に依り其指定する場所に於て開會す

第八條 本會に提出せんとする議案は理由書を添へ開會二十日前に開會地商業會議所に送致すべし

第九條 開會地商業會議所は開會通知と共に開會期日十日前に之を聯合各會議所に送致すべし但し前條の規定に依らざる議案は二會議所以上の贊成あるにあらざれば提出することを得ず

第十條 本會の經費は左の等級に依り聯合各會議所之を負擔す

一等(歲入豫算二萬圓以上)	指數	一〇
二等(同一萬圓以上)	同	七
三等(同七千圓以上)	同	五
四等(同三千圓以上)	同	三
五等(同三千圓未滿)	同	一

第十一條 本規則に定めたる事項は總會に於て[illegible]決議を以て之を定む

◎辭令

今回左の如く辭令あり

朝鮮總督府郡守從七位 郭[illegible]
敍高等官六等八級俸下賜(七日附)
依願免本官(十二日附)

◎林公使出發

十三日朝入京したる林駐支公使は十四日午前八時二十分南大門驛發列車にて北京に向け出發したるが南大門驛には長谷川總督松川軍司令官其他官民多數見送れり

◎宇佐美長官出張

宇佐美內務部長官は十四日午前八時十分南大門驛發列車にて開城に出張即日歸任せり

◎關屋局長歸任期

學事視察並に公立學校長會議に臨席の爲め慶尙南北道へ出張中の關屋學務局長は十六日歸任の旨報知ありたり

◎高橋武官通過

高橋總督附武官は十四日朝著釜午前十時半發急行にて歸京せり(釜山特電)

◎前田大佐歸任期

釜山滯在中の總監部前田大佐は十四日歸任の豫定なりしも都合に依り一日延期十五日朝歸任すべしと

◎矢野營林廠長

新任營林廠長矢野久三郎氏は十九日朝[illegible]釜山出發赴任の筈なるが途中[illegible]城に下車し三日間滯在すべし

◎石原府尹出發

新任[illegible]州府尹石原留吉氏は豫定の如く十三日午後九時四十分南大門驛發任地に赴けり

●新判所新理事官●

總督府[illegible]判所新理事官として遞信[illegible]中村寬猛氏十一日附任命され[illegible]

◎博物館觀覽者

客月中に於ける觀覽人員を聞くに普通觀覽者內地人四百[illegible]鮮人六百二人外國人三十九人合計一千[illegible]人、特別觀覽者は內地人二百五十八人外國人[illegible]人合計二百六十六人にして總計一千[illegible]之を開館日數に割當つれば一日平均[illegible]人弱なる割合を示せり

人事消息

▲八島明氏(土木局京城出張所) 十三日附以て江原道へ出張を命ぜらる

▲小岩井兼輝氏(技師) 十三日附を以て[illegible]州郡へ出張を命ぜらる

▲岩城信太郎氏(土木局釜山出張所) [illegible]日附を以て永川郡內へ出張を命ぜらる

▲江原善槌氏(京城[illegible]) [illegible]出張中の處十二日歸任

▲島崎孝彥氏(技師) 慶北管內へ出張を命ぜらる(十四日附)

▲本間孝義氏(技師) 咸南道出張を命ぜらる(十四日附)

▲齋藤諒三氏(慶北一部長) 十四日[illegible]

▲關府保安課長 平安南北道各[illegible]務巡閲の爲め往復二週間の豫定を以て[illegible]日同地方へ出張すべし

▲松井警官練習所長 南鮮地方へ[illegible]ころ十五日歸任すべし

▲郡山庶務部會計課長 十三日木浦より[illegible]

▲爲永伯氏(元山駐在支那領事) 十三日[illegible]

▲山崎猛氏(松島洋行員) 十三日夜[illegible]

▲石原留吉氏(新任新義州府尹) 十三日[illegible]發赴任

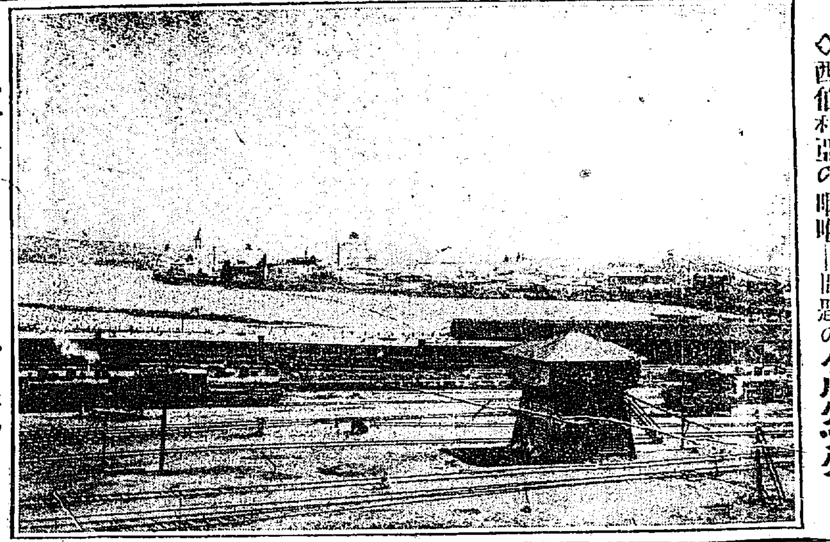
彼れ此れ

◆獨逸芬蘭の講和調印成り、獨探の煽動は、西班牙に伸び、革命の烽火を見んとす。將に、其の跋扈を縱にせんとするに於て、彼等の魔手に對しては、速に、快刀一揮を要す。當代の渡邊綱たらんもの、抑も何人ぞ。

◆土軍は、道伴れの積りにや、ルメニャに於て、大虐殺を行ひたりと。軈て來るべき、自己に迫る運命を知るや否や。斯る道伴は、甚だ以て迷惑なるべく、獨逸の片棒となりし、土軍の行爲や、一層憐むべき也。

◆近時支那人の、我金貨を、頻に海外に持ち出さんとする者多しと。其の裏面には、例の奸商が無智の支那人を使嗾し、百圓を百五圓に買收するより、利に敏なる彼等は男女老幼の別なく日本銀行に、兌換を申込めりと。而も其首謀者に、日本人ありとは、能く〳〵の連中也。

◆九鐵事件の、元兇と目されたる、參事宇佐美莞爾氏は、大學出身の秀才にて、今秋は、松方侯の孫に當れる才媛と、婚約ありしは、今度の騷ぎにて破約となりたりとは、之も事件裏面の一悲劇也。



◇西伯利亞の咽喉＝問題のイルクツク

◎風荒ぶ黒龍江畔に
＝本邦人と露國過激派との衝突
◆二瓶チチハル領事談◆

十三日奉天通過東上したる黒龍江省齊々哈爾領事二瓶氏の談に曰く

◆東清線の昨今 は露兵の代りに支那兵の守備を見る位にて表面頗る平穏なり、哈爾賓は近來やゝ活氣立ち居るも餘り大した發展もなきやうなり、黒龍江畔ブラゴエチエンスクに於ける邦人と露國過激派との衝突は何分十人ばかりの死傷者ありたる由なれば領事館よりも早速人を派し調査せしめつゝあり、露支國境滿洲里方面の反過激派も昨今は肝腎の同志に乏しく物資に乏しく餘程困り居る樣子なり目下極東露西亞は殆ど

◆過激派の天下 といふも不可なくイルクツク、ブラゴエチエンスク、浦鹽等何れもみな同派の掌中にある次第なれど自分の知れる人々には反過激派の人々尠なからず、彼等は何れも過激派を憎惡し居れり、最近露國より來れる人々のはなしを聽くに近來は歐露に於ても過激派は漸次

◆愛想を盡され 居れる由なり、レニンは露西亞に於ける有名なる學者にして世間で評する如き惡漢には非ざるも何分革命の壽とて徹個き手段を排しあの通りの極端なる方法に出でたるならむ、現下北滿方面は世界の視目を集めたるかの觀あれど表面は頗る平穏なり、北滿にて邦人の大に發展して貰ひたきは同地方の

◆豐富なる鑛山 にして商人も此の際物資缺乏の時に於て盛んに日本製品を賣り擴めるが肝要なり、それには少しは將來の事も考へ特に

◆恩惠的廉價 にて賣り擴める必要あり、露人は香氣なるところおれどアレで案外に感情的な國民なり、北滿の將來は益々多事邦人も大に東清線及び黒龍江沿岸に發展したきものなり（奉天）

◎鳥居坂新御殿竣成

李王世子殿下御婚儀の準備に麻布鳥居坂の新御殿は本月中に竣成の筈なり（東京特電）

◎全南沖にて 露船遭難
松島丸急航

慈恩島附近に於て露國汽船遭難し救助に就き警備船なきより稅關ランチ松島丸にて急航し更に救助船派遣方其筋へ電請せり（木浦特電）

▼露船遭難別報
＝三千噸級汽船＝ 信濃川丸の報告

十三日午後群山に入港せし汽船信濃川丸が十三日午前六時頃全南務安郡慈恩島より西北方なる鳥島と大馳馬島との中間に於て船名不詳約三千噸位の露國汽船一隻が前記の場所に遭難し居るを發見せしも折柄風波荒くして救助すること能はざりし旨を群山警察署に屆出でたり依つて群山署より全南與務部に移牒急報したるに依り與務部にては木浦警察署に對し急遽出動方を命じ同署にては取敢へず稅關所有の松島丸に巡査を乘り組ませて現場に急行せしめたり一方鎭海要港部に驅逐艦の派遣方をも打電したりと（共勝着電）

◎久原專務出頭
書類を持參

久原の日本汽船會社專務中山節太郎氏が十三日午後同社の書類を持ちて大阪地方裁判所に出頭したる裏面の消息何れとも判じ難きも時節柄世間の注意を惹けり（大阪特電）

◎岸本氏遂に拘引
鐵工重役取調

製鐵所事件に就き大阪鐵成金岸本一家共經營會社取調べの上贈賄證據上りしにや尼ケ崎製釘所業務執行社員岸本亮太郎氏は遂に拘引福岡に送られしが猶大阪鐵工所下村庶務課長、岡本造船鐵工所岡本專務等も檢事の取調を受けたり（大阪特電）

◎御影中學燒く
寄宿舍より出火

十三日午後三時兵庫縣御影師範學校寄宿舍東寮より出火し同四時半鎭火せしも同舍並に隣接せる食堂共烏有に歸したり（兵庫電話）

◎支那ペスト實況
原技師の報告

警務總監部より支那京漢線脚ペスト實況視察の爲め出張中なる技師原親雄氏よりの報告によれば◆三月二日京綏線に依り大同及び豐鎭方面有病地視察の途に就く此の途中に於ける汽車檢疫所たる南口驛に停留者一千餘人を收容し得べき隔離所あり三月三日大同に著す此地既に患者の發生終熄し一週間前某旅館に四名の患者ありたる以來發病者なし初發以來の患者計四十七名なり 三月四日豐鎭に在り今より此地視察の豫定なるも當地亦患者發生せざること既に十日餘に達す而して當地に於ける患者總數百二十名にして某醫師の談に依れば當地流行の初期に於ける患者は咳嗽血痰等ありしも後には該症候全く缺如し唯發熱を以て急速に死亡し他に何等の症狀を呈せずと尚豐鎭附近は馬賊横行し危險なりとて官憲は余等一行の爲大いに警戒を加ふる有樣なるを以て已を得ず當地より更に進んで有病地患者の追及を爲すは之を中止すと

◎河井朝雄氏公判
懲役一年六月 言渡は十九日

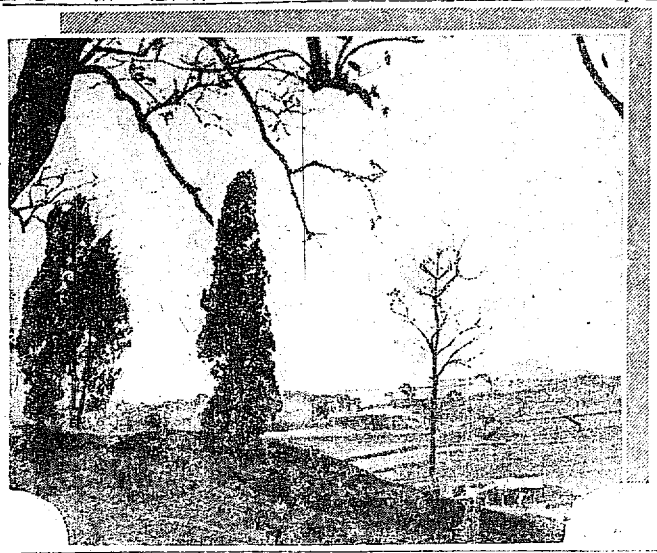
朝鮮民報社長河井朝雄氏詐欺被告事件に對する公判は十三日午前十時より大邱地方法院訟廷に於て裁判長松下判事長尾檢事立會の下に開廷裁判長より型の如く被告の住所氏名年齢職業等の訊問あり次で長尾檢事の豫審決定書朗讀より裁判長の被告に對する犯罪審問並に證憑書類の調査あり終りて被告の辯護人側より二三證人の訊問申請ありたるも其の必要を認めずと却下され正午休廷午後二時より再び開廷長尾檢事より懲役一年六個月に處せられ度しと同情ある求刑あり裁判長は十九日判決言渡の旨を宣し五時卅分閉廷せり（大邱）

◎通貨僞造の爲 强盜殺人
朝鮮刀にて

全北全州郡雲東下面姑堂里居住木炭商和田喜二郎(四〇)方に昨年十月十一日夜午前二時頃一名の曲者の押入れるを發見して誰何したるに賊は無言の儘俄に及渡り一尺位の

◆朝鮮刀を 以て喜二郎の前額部に斬りつけ長さ一寸五分深さ三分位ゐの重傷を負はせたりしが豪氣なる同人は更に屈せず賊を逃さじと取り押へて格鬪を續け別室なる家人に對し早く鐵砲を持つて來いと叫びしより曲者は怖氣立ちたるものか懸命に喜二郎を振り離し一物をも强奪し得ずして逃亡したり急報に依り官憲にては犯人を嚴探中なりしが三月四日高山憲兵分遣所小松上等兵が補助員を隨へ

◆犯人の嫌 疑ある李京雲(三一)なる者が全北鎭安郡朱川面大佛里に潜伏し居る探知し前後四日間同里を精探したる結果遂に逮捕し取調たるに京雲は兇行當時紙幣を僞造せんと企てたるも其資金なき爲め前記の始末に及びたる旨自白し目下高山分遣所にて嚴重取調べ中なり



◇新練兵場の春色（新練兵場上の高地より龍江を望む）

◎春を！
―訪ねて―
◎郊外へ（新練兵場より）

■春 へである、春である。久しい間、底意地の悪い姑のやうな、暗いそして冷めたい「冬」の手に苛なまれてゐた、京城の天地にも、優しい救ひの女神を思はせるやうな「春」が來た。内地に較べると季遅れがちな京城には、まだ、近郊の花だよりといふやうなものが傳はつて來ないけれども、それでも若い西洋婦人が眞黄色な連翹の花束などを持つて歩いてゐるのを見る。

■淡 いコバルトの繪の具に紅の一滴を垂し、それが一杯に擴がつたやうな、大空から落してくる軟かな春の光りは、目まぐるしいほど、明るく華かに輝いてゐる。その希望に對してゐると、知らず〳〵熱い血が全身に漲つてくるやうな春の日に滿ち溢れてゐる快さを覺ゆるとき、吾々は瞬時といへども静としては居られない。

■春 を訪ねて、そことなく近郊を廻つて歩くのも一興である。花咲くまでの市人の遊び場所、そんなものが見附かれば更に儲ものであらう。漢江々畔を歩いて見ると、ツイこの程まで堅く閉してゐた氷は全く解けて、靜かな水面には、時々川魚が躍つて波紋を描いてゐるのさへ見る。去年の秋から新らしく架つた人道橋上に立つて四顧すれば、上流下流の遠山淡く霞んで、鷗が輪を描いて徐かに舞うてゐるのも平凡ながら長閑な景色である

■橋 の下では川砂が白銀のやうに白く輝いて、潮のやうな川面を動くともなく進んで行く喚料片帆絹のやうなのも面白い。京元線に沿うて左に行くと芝草のまだ黄色い鐵道の人の家族らしい子供達が遊んでゐるのを見る。

■■鐵 道線路に沿うて東に行くと、陸軍記念日の日に演習のあつた新練兵場に出る、カアキー服の初年兵らしいのが毎日練兵に餘念がない。廣い練兵場に將校や下士の叫ぶ號令の聲が、よく透つて勇ましい。少し遠いけれども子供などを連れて一日を遊ばせるに最もいゝ所であらう。練兵場の近所には高地があつて其處に登れば漢江が直ぐ眼下に見わる。いゝ景色の所である。亦この附近には摘草にいゝ野原も多く内地人の百姓も大分居るやうだ。

◎老婆の大火傷

十三日午後五時四十五分頃京城西大門町一丁目百五十九番地李慶姫方の温突焚口より發火して大事に及び常備消防隊が出動し同家温突建瓦葺三間を燒失して同六時五分鎭火せり損害約三十圓右出火と共に戶主の實母李召史(七〇)は逃場を失ひて全身に大火傷したるより取敢へず鍾路一丁目の京城病院に擔込み應急手當を加へしが頗る重態なりと

判決其の他四名も各判決されしを不服として目下京城覆審法院に控訴公判中

◎二千圓捲上ぐ

仁川花町一丁目古物商辛昌根(三八)京城鍾路四丁目金泰植(三〇)咸南德源郡縣內面元山里崔德裕(四〇)等は外四名の手先を使ひ京畿、咸南兩道を徘徊して金持ちの伜を各所の料亭に誘き出し詐欺仕掛けの賭博方法で昨年中咸南北青郡德城面東内里の高張用から一千九百十圓外二名から百五十圓と四百圓とを捲き上げ各分配して遊興消費したことが發覺して逮捕され此の程元山支廳で昌根は懲役三年六箇月、泰植は同一年六箇月、德裕は同五箇月の

讀者文藝（一等には五十錢の有價證券を呈す）

▲一口噺時事

○妻君『ねエ貴郎近頃上流社會の…はなせ悪い事をするのでせう』
郎『物價騰貴だからさ』（一等） 京城明治町二唐川與服店 林啓市

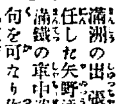
▲甲『開もの樣にお小遣を十錢上げます』子供『物價騰貴だからもう五錢下さい』 渡邊 愛 扇子

▲甲『此頃の物價騰貴で困つてる人が多いそうだ』乙『併し商賈人はうんさもうかるだらうな』 京城 芳 南 生

▲讀者『英國では近頃「日本の櫻」と云ふダンスが流行して居るとよ』 香助『では矢張り千鳥足でかアく〳〵になるのだろふナ』（先著） 龍山 鳥 石

▲直談『オイ〳〵今頃には乞食の氏金が出來たさうよ』 鉄太『失敗つたおれもあの時乞食か仕ておればよかつたになー』 京城 英雄

▲甲『活辯も其筋の命に依りペスト豫防注意をなして居た』 乙『ついでに活動寫眞の弊害豫防到底も願ひたいもので』 仁川 松 洞



滿洲の出張から歸任した矢野通信課長▲滿鐵の車中消閑に作句を可なり作つたらしく、それを此頃某氏に示した▲その内の二三を摘むと安東縣の物産陳列館を觀た時、案内の女子事務員が寒いので手を縮めて安東名産の説明をしたからと云ふので『手を縮め物產を說く餘寒かな』とやつた▲奉天の滿鐵病院横の廣い原を、支那車に乘つて薄氣味わるく（附屬地より十間房へ行つたとき）『暗き原を支那車にて行く餘寒かな』▲大連から北に向ふ途中湯崗子の温泉に旅塵を流した、何でも酷い吹雪に遇つて課長も大分弱つたらしい、そこで『横に吹く滿洲の雪の痛さかな』が出來た▲更に『吹雪の音に寢覺めけり温泉の宿や』等は可なりのんびりしてゐる▲奉天長春間の廣漠な平野を見ては平凡ながら『一望千里白毛氈の冬野かな』と出し▲奉天で猩紅熱と疑はれ、三十九度の熱に苦しんだときは『旅に呻吟す病床の日の永き』とうなり出した▲而してコレ何の技巧をも加へぬ如實そのまゝとは矢野氏のつけたり文句だつたさうな

讀者文藝課題及び募集規定

□募集規程▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等…

十三日午後釜山入港壹乾丸一二等客

一等（二名）…

子、海野榮作、白井靜二、畑中謹吉、山本亦次郎、竹井ます、水上八藏、宮田太吉、笠原美代藏、同そよ、同しづゑ、同よし、田中くに、松村ての、岩瀬實松、同みよ、野池辰猪、石田はる、橋本はる、河野二郎、岩崎みき、菰下こ…

商況

東京期米特電

十四日後場 一番	二十六圓二十八錢
二番	

兵庫期米

十四日前場 先限寄付 二十五圓八十七錢 二節 九十錢 三節 八十九錢

大阪三品特電

十日三節期寄付 … 三月限 … 五月限 … 六月限 … 七月限 … 八月限 三六三六五

大阪株式特電

鐘紡	
堺川水	
東洋紡織	
大阪紡績	
攝津紡績	
尼崎紡績	
大阪商船	
日本郵船	
阪神電鐵	
宇治川電	
東京株式	

大阪期米特電

十四日前場 先限寄付 二六、〇一 四節 二五、九〇二 五節 二五、九八

下關期米特電

十四日前場 各地氣崩れ強調…

雜報

◎綿糸布好勢 三銘十一圓十五錢

大阪三品は先限三百六十八圓三十五錢昨前場より約五圓四十錢高と報じ綿布も之又好勢の入電にて一時頓に人氣を引立て…

◎毛斯氣配軟弱

永らく好調を辿り八十二錢迄昂進した毛斯倫市場も最近の情報により出廻期の見越しより先物賣急ぎ…

◎先物七十七錢見當と弱持合の姿

反撥的活躍を現出す

◎正米更に安氣配

内外の低落

◎大小豆安氣配

大小豆は共に高値より約五十錢安の氣配

◎支那粟付活況

南大門の廻穀

長崎大麥	二七叺
醴川糯米	
水原米	
定州糯	
宮川大豆	
馬山玄米	

仁川正米

釜山穀物（十三日）

仁川期米

▲十四日前場（委落）

第一節 各地前安米落にて當地…當中出先二十二圓十…

◎北海色豆硬化

…更に十錢方上伸せり

◎砂糖小締まる

二十錢方引締まれり

◎ショーベル昂騰

五十錢内外騰貴せり

下關相場

◎大阪二十五圓九十二錢と昨比十七錢安の入電に更に一圓九十九錢

◎暴落して更に八十七錢

◎九十錢と押し一錢と投げ續出に

◎支へ大混戰を演出して

市場雜觀

三期逆鞘の奇現象

◎又一つに出桝の差違

當限取組は又復八千八百石と增加

受渡しは一萬石以上

▲郵船受株多し

▲尼紡株

北濱たより

◎九錢と九錢安に寄付きて遂に大瓦落を演出し

◎更に八十七錢と暴落し大阪の暴落と相…

◎更に一圓九十九錢

仁川米豆取引所

十四日の五月限

寄付	二十一圓…
二節	
三節	
四節	
五節	

◎仲買店 仁川米豆取引所仲買人 主任 電話一五八番

◎仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話二八三、二六三

◎仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町二丁目 電話六〇番

白米標準値

二十六圓九十錢

小賣白米

現金賣 一等白米 二十七錢五厘 二等白米 二十七錢

大阪期米

△十四日後場 ▲當限寄付

し九十三錢と跳返し九十錢二節大十錢八十九錢二節九十一錢九十錢 阪機らざる入電にて當二十二圓十一錢九十錢一錢二錢一錢三節九十 錢先九十一二錢四節に至り中々三一錢二錢四節九十一錢▲一錢 錢より奎割れ九錢と落込み先九十

平均 一節	二十一圓八十八錢
二節	二十一圓九十一錢
三節	二十一圓九十一錢
四節	二十一圓九十一錢

天氣 はれ

晴れ（十四日午後六時より十五日午後六時迄）

▲三月十五日

▲十四日後場　大阪電報未著の爲に先限二十一圓十七錢と四錢安に寄付二錢と押
[illegible]
▲先限一節二十一圓八十七錢六錢三錢二錢三錢五錢三錢四錢七錢八錢九錢九十錢一錢二錢三錢二錢九

十四日の五月限
寄付　二十一圓八十七錢
止メ値　二十一圓九十一錢
高値　二十一圓九十三錢
安値　二十一圓八十二錢

[illegible]

大豆取引問題根本解決
◆今後の紛擾を根絶せしめんとす◆

大連に於ける大豆取引紛擾問題解決と共に大連取引所及び取引人組合は再び斯の如き問題の惹起すべきことを根絶せしむる方法を講じ居れるが過日來取引人組合員全部及び井村取引所長、川竹書記長、堀田商記重役、小澤支配人等列席の上先物取引の種類及び賣買方法中相對賣買の方法に依るものを大豆、豆粕、豆油、高粱其他の雜穀とし契約期限は從前の通りとし受渡期日を毎月十日二十日及び月末とし競賣買の方法に由るものを大豆、高粱の二種と定め大豆其他の檢査は檢查員の多數に由りて決定し若し可否同數なる時は檢查主任之を決す檢査は賣買双方より申出でざる時省略するものとし取引所長の定めたる標準品に依り品質を檢定し合格不合格及び格差を定め合格品の計量を行ひ合格品は標準品と品質同等と認むるもの及び其の品質は優劣ある標準品に對し其の格差一担に就き五錢以內と認むるもの標準品より品質優等なるも標準品に對し其の格差一担に就き五錢以內と認むるもの及び格差五錢を越ゆるも賣方に於て五錢の格差を以て受渡す事を申出でたるもの及び標準品よりも品質劣等なるも標準品に對し其の格差一担に就き五錢以內と認むるものを合格品とし品質及び格差認定は概して乾燥光澤實張の良否及び夾雜物の多少其他調製の如何に依りて決定し檢査の方法は大豆其他雜穀に在りては各並積の數量の中にて三十袋の中其の各袋毎に適宜中味を抽出し之れを混合したる上標準品に對照して合格不合格及び格差を決定す以上の手續を終りたる時は計量を行ひ其の並積の總數量を決定し賣買双方の申出ある時は適宜の方法に由りて前項の計量を行ふ事となり大體右の如く決議せり組合長は之等の決議案を取引所に提出せり又取引所にては先物取引に關し大豆其他雜穀相對賣買受引に關して組合に諮問せるを以て組合會に於ては十一日之れに對する協議會を開く事となりたり

砲兵工廠工事進捗
◇本工事は四月中旬竣成の豫定なり

朝鮮兵器製造所工事は昨年十一月以來結氷の爲め工事捗々しく進まざりしが目下解氷期に向ひたれば現在の基礎工事たる土工中の最重要作業コンクリートの施工にとりかゝりたるが本工事は來月中旬頃まで全部終了の豫定にして右基礎工事全部終れば目下內地より輸送の途中にある鐵柱を建て煉瓦壁の築造に着手すべく職工人夫の如きも目下使用せる二百名の外更に二百名の所要人員を增加すべしと然して煉瓦は兵器製造所敷地の西方二萬坪の地に於て請負人たる清水組の手に於て製造し居れるが同地の砂土は煉瓦用土に適し最良好の物を產し已に六百萬個の內二十萬個を製造し居りたるが目下の製造能力は第二本の四分の一に過ぎざるが製造機關の全部完了するに至らんか同所に使用する煉瓦の供給は何等支障を見ることなしと之れに關し近藤兵器製造所長は記者に語つて曰く兵器製造所の敷地を現在の所に選定したるは最好適地を選びたるものと云ふべく地下は掘鑿僅にして岩石に當り煉瓦製造の如き其地の土砂を使用して最適當の物を製作し得たり本年度內には豫算百萬圓の金を以て建築を了し尙追加せられたる百八十萬圓を以て內部を整頓せしめ愈々大正九年より作業に從事することになるが果して平壤人士の期待に副ひ得るや否やは其當時にあらざれば判明し難きも然し此處數箇月を出でずして建築の地上に見ゆるに至らば多少面目を革むべきかと

吉林に製紙業

豫て撫順の東洋炭礦會社長上仲尙明氏及び農商部吉林々務局長なる胡宗瀛氏等により計畫中なりし日支合辦事業の吉林製紙會社は運回諸般の準備整ひ愈々來る四月までには開業の運びに立到るべく工場は吉林を距る遠からざる山間に設置し各紙製造の他製紙原料をも製造する計畫なりといふ目下紙價昂騰の折柄吉林製紙の前途は非常なる期待を以て迎へられつゝあるが何分長白山の大森林を控へたることなれば彼の安東縣に於ける蔡原鍬大郎氏等の企業と共に日本製紙界の重鎭たるべく豫想さる

龍口銀行改革

龍口銀行は今回大連に支店を移し全然日本商法に由り普通一般の銀行と同樣の組織に改め新たに營[illegible]

滯貨日に嵩む

四平街にては滿鐵貨車配給不足の爲め日々の出貨は三十噸(貨車十輛)內外にて發送し切れず益々增加の狀態にあり目下大豆高粱豆粕其他の農產物は三萬噸以上驛のホームに充實せり四平街驛は他驛と異なり構內に設けられたる開放區域に圍子を造り蓄積しある爲め春季結氷の地面に溶解すべき際に於ても別に苦痛を感ぜざれど貨車不足の爲め發送遲延し貨物を澁滯せしめ資金を固定せしむる事少なからずといふ

奉天の金融界

奉天各銀行の二月末預金及び貸出帳尻は鮮銀、正金、正隆、南滿、安東の合計一千二百五十二萬一千二百五十二圓四十五錢にして之を昨年の同期に比し三百八十一萬一千五百八十一圓五十錢の膨脹を示す昨年と本年各二月末の比較左の如し

	昨年二月	本年二月
預金	[illegible]	[illegible]
貸出	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

北滿の日本人

滿洲里領事館の登錄に係る北滿及び西伯利亞地方の邦人數は左の如し但し實際は是以上更らに二三割乃至數倍に達し居るならんといへり
▲滿洲里二八三▲ニコリスク二九五▲齊々哈爾一六五▲ハバロフスク五七三▲一面坡一三一▲哈爾賓[illegible]▲ゴエスチエンスク三八三▲海拉爾[illegible]▲漠河七一▲滿洲里二〇五▲ハイラル七七▲黑河二四三▲呼瑪八〇▲[illegible]一五

小麥は一高一低

米雜穀の暴騰は近時昇騰に昇騰を重ね殆んど天井を知らず殊に小麥の如きは製粉界の旺盛より延いて內地思惑筋の買占めに遭遇し市價益々強硬を以てし下鞘を見るべき見當付かざりしが去る八日より稍々腰折の姿を現はせしも其後又々漸騰を續け十一日は當地市場に於て十九圓七八十錢を唱へ更に十二日は三四十錢方の下落にて氣配上押の狀態なり之が爲め平壤製粉界に大打擊を與へ製粉手控の已むなきに至れりと(平壤)

平壤市場の精米
天井知らず
○今や三十一圓臺を突破し○調節の聲漸く昂らんとす

內地思惑筋の買占强硬を氣構へたる結果調節令の出でたる今日期米市場は前場後場を通じて日々奔騰を報じ加ふるに市場在荷薄を告げ延いて朝鮮に於ても買占むるものあり斯界に大影響を齎し平壤の如きも日々入電毎に暴騰を見今は早や天井知らずの狀態を持續し十日入電は市價三十一圓を突破し尙時々刻々發展あるに至り向後或は四十圓臺を擊破せん形勢なるより市民は漸く米價調節令の必要あるを自覺し此際特に政府の措置如何と嚴密注意を拂ひつゝありこれと共に薄給の官公吏下級勞働者等は益々生活難の聲を昂めつゝありと

平元線の採擇

嚮に元山鎭南浦平壤の三商業會議所聯合して兼職員其の他當路の官廳に請願せし平元線鐵道速成の件は今期議會の請願委員會に於て採擇に決したる旨通知し來りたる旨十一日元山商業會議所より平壤商業會議所へ通報ありたり

大連より

○滿洲に於ける物價の激騰は漸く在住邦人の生活に不安を與へるやうになつて來た滿洲在住の邦人は其の收入に於て內地及び朝鮮等よりも遙かに優つて居るが從來の物價が又內地朝鮮等に比し約二倍强の高價であつた爲め其の收入の多き事も或一部の者を除くの外は決して有難いものでは無かつた

○然るに近來內地に於ける諸物價の騰貴と朝鮮に於ける物價の激騰を來し收入の增加は物價の騰貴に追隨する事能はず各所に生活難を訴へる愁聲を聞くやうに成つた殊に時局進展と朝鮮米輸出制限は一層在滿邦人の生活を脅して來た

○之に對する準備としては各方面に其の救濟策及び物價激騰防止の方法が講ぜられて居る都督府にては米の專賣を計畫し大連民政署にては公設市場設立の計畫中であり市中各團體の間には各生產者と直接取引を行ふべき大規模なる購買組合も二三計畫されて居ると云ふ事だ

○元來殖民地の發展は消費の旺盛なる事が其の進步の原動力と成つて居る即ち殖民の元氣と生活慾の充實とは各國の植民の母國民に比し遙かに優れて居る凡て積極的でない譯には行かない植民地に於ける贅澤は止むを得ざる現象である收入の夥多なる者は宜しく之れを散ずが宜いしかしながら生活必須の日用品の暴騰を防ぐ事は植民策として最も必要なる一つであつて殊に滿洲に於ける如く其の收入程度の甚だしき差異ある地に於て收入の夥多なる者よりも寧ろ收入の少き下級者に永住的眞面目なる植民の多き土地に於て茲に意を須ひなくてはなるまい

○實際滿洲に於ける邦人は眞面目なる者は比較的收入少なく不正な者と大法螺吹きとが莫大の利益を占め有ゆる贅澤を盡して居る一概に滿洲には金が多い生活難は未だしと云つて居る足下に想像以上の生活難に苦しんで居る者が甚だ尠なくはないどうか其の局に當る者が同情と親切とを以て詳細に研究調査を進めて貰ひ度い

白山黑水

此の頃大連では例の阿片やモルヒネの贋造をして居る者が尠くないさうだ▲つひこの間も粘土やチョコレートを混合して拵へた贋造阿片を三千六七百圓で賣飛ばした男があつた▲支那人が火を付けて吸つて見ても些しも利き目が無いと云ふので發覺したが斯んな仕事を爲て居る者が可成澤山入込んで居る樣子だ▲近來朝鮮人蔘が盛んに滿洲の邦人間に歡迎されるやうに成つた朝鮮人蔘のお蔭で多年の持病が全快したと云ふ人が澤山ある▲朝鮮の人蔘を賣れる際に眞面目に良品を拵へて輸出するやうにして貰ひ度い粘土の阿片やウドン粉のモルヒネのやうなものを拵へないやうにして貰ひ度い

お野菜の
=廢物利用=

お野菜の底知らずに高くなつたこの頃のお臺所に野菜類の廢物利用をお勸めします

▲卽ちお野菜にだつて種々な廢物利用法がございましてその廢物を利用して作つた料理も滋養の點に於ては少しも劣つては居りません

▲お野菜の廢物利用と申しますと一寸耳には腐敗した物の料理のやうに聞えますが決して腐敗した物の謂ではなく普通ならば埃箱に捨てゝ了ふ皮とか葉とかの部分を活かして使ふ方法でございます

▲假令へば今八百屋にある野菜に就て五六種申しますなら早い話が菜ツ葉の褪つちやけてバサ〳〵して居りますのは大部分お捨てになる方がありますが彼れは霜や雪の下敷きになつて燒けたので決して腐つてゐるのでないから食べて差支有りません又少し位葉の萎びた物は茹でゝ味噌汁の實なり魚の配ひに煮るなりすれば結構です又お浸しにしても頂けます

▲それから菜の腐つた物は葉がドロリとして黏んでゐますから譯なく見分が附きますが此の場合は其ドロリとした部分を捨てゝ葉の筋と莖とを糠味噌に致しますと結構な漬物となります次に

▲大根、人蔘の皮の利用法をしますと總て大根や人蔘は皮と實との間に滋養分が有りますから皮を剝かずに頂く方が滋養になりますけれど若し皮を剝きました場合には其皮を利用せねば勿體ない譯です

▲デ大根の皮はよく洗つて糠味噌に漬けるとポク〳〵と歯切れの好い漬物が出來ます

▲又細かく刻んでお汁の實にしたり茹でゝ白たきと共に白和にするか胡麻の油でいためて煮汁を加へて豆腐をつかみ崩しにして加へてケンチン汁を作つても結構です此のケンチン汁の中へは人蔘の皮を添へると味も出るし色彩も美しくて美味になります

▲人蔘の皮は牛蒡の切端と共に細かく刻み水で洗つて水氣を去りメリケン粉の衣をつけて胡麻の油揚進物に致しますと結構です

▲馬鈴薯の皮は晩の仕度の殘り火でよく茹で裏漉しにかけてスープを加へ鹽と胡椒とで味をつけてパン屑を入れると濁りスープが出來ます

▲又其の皮の分量が多ければ裏漉しにかけたもの〻中へ鹽鮭の肉をほぐして混ぜ適宜の大きさに丸めて揚げるとコロツケイが出來ます

▲裏漉しにかけたものに砂糖と鹽とで味をつけ布巾に入れて絞ると茶巾絞りが出來ます之は子供のおやつ代りになります

▲澤庵の切屑や日乾物は細かく切りに刻み胡麻醬油に和へると味がありますが又其の細かく刻んだものを胡麻の油でいため煮汁と砂糖を加へて煮ると結構です

台所 その日〳〵

○ひらめの玉子とぢ　ヒラメの鱗をよく掠ひ臓腑をぬき三枚におろし五分位の角形に切つて置き玉子も皮を剝きます鍋に味淋五勺を入れて火にかけ一沸しして醬油三勺鰹出汁三勺程を加へ之れに右のヒラメ肉を入れて蓋をして煮ます材料が煮えましたら玉子を割つてよく掻き交ぜたものを上からかけ又蓋をして火を弱くし一寸蒸らすやうにして火を消して其儘おき客に出す直ぐ前に深皿又は小丼の樣なものに盛りまして暖い中にすゝめます尙其上に胡椒をふりかけても宜敷うございます

▲美味なる 虫下し 最良藥▼
定價 五錢 十錢 廿錢 五十錢
岩崎大海堂セメンパン菓子
美味なる 虫下し最良藥 さんとにねくわー
登錄商標 本舖 大阪天王寺鳥居前角 岩崎大海堂 ▲內外藥店にあり
主治効能
蛔虫諸症。疳の蟲蟲熱
夜なきの蟲。乳あまし
蟲腹いたみ。疝熱の蟲
蟲胸あしく。勞熱の蟲
蟲ぜき。驚風の蟲
近來粗惡なるにせ物續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ
▲廿錢のは卅二錢分入りで函入で體裁よく常用と進物に妙です

かぜねつに一番よくきく キナピリン
◉キナピリンは◉感冒◉熱病◉頭痛◉インフルエンザ◉リウマチス◉間歇熱(マラリヤ)等に大効あり
定價 一包入拾錢 五包入廿五錢 八包入三十錢 十五包入五十錢 三十二包入壹圓
本舖 大阪市堂島元船町 髙橋盛大堂藥局
發賣 同 心齋橋博勞町 髙橋盛大堂分店
◉各地到る處の藥店に販賣す

驚くべき金儲あらはる
小資本にて確實に最大利益有は新案發錄屋外暗室活動寫眞器械にして理想的最新機なり銀貨を投入すれば自動的に明き面白き寫眞を鮮明に映寫なし觀客をして何再映を望まる、程興味深き金儲器械にて取扱輕便素人にも出來る他に比類なし
◉郵券貳錢送速時說明書進呈◉
東京市淺草區藏前通八幡町八番地
製造發賣元 大澤商會
振替口座東京一六六八八番

原貨料與職業
遠近男女誰にも出來る輸出パナマ及ゴムの職業有原料貸與製品永久買受契約す利益熟練一圓五拾錢迄確實詳細案內書御一報次第進呈す
大阪本町信濃橋東詰(振替一〇〇〇六) 東洋物產合資會社
代理店募集

陸軍拂下
袋褥袢、袴下、靴下手袋被服一切
京城府漢江通三電話長三三六番
佐藤古着店
並に諸官衙拂下品防

天下一品 一日拾俵搗
足踏 精米麥機
本機は運轉輕快一日十俵精白を確實 天下一品の是機最非試驗を乞ふ詳細說明書申込次第送呈
大阪市北區上福島町一丁目梅田橋
砂川製臼所精米機部

金銀諸
黃銅鈴。齒科用金箔無地金屛風。押紙
金銀箔商
右各種製造發賣
京都市御幸町御池南入 堀至善堂
振替貯金大阪六四四番
電話上五二五番

社員五名募集
給仕一名
履歷書携帶本人來談あれ
大連市三河町三十一號地
明治公債支店

蔬菜 種子
西宮 株式會社大正園
攝津
蔬菜部大擴張
芍、朝顏、グリヤ、薔薇、等
和洋各種數百種 蔬菜種子取扱有候

セントル、ヒユゲル 口徑拾二吋
ポンプ
鐵管式拾五尺 ベンドプートバルブ共
壹臺
右割安賣却來談願上候
京城南大門通五丁目
器械材料商 中村幸商店
電話二二五番

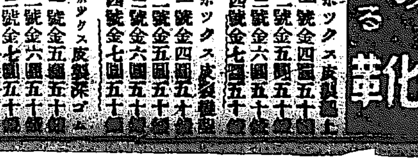
赤門人參規那鐵葡萄酒
朝夕の一杯は身體の疲勞を醫し肥す
身體虛弱 貧血 食慾不振 夜盜 夜行 病後 產前產後の人 神經衰弱 病弱 發育不良 勞動 過度 衰弱 病患者 の如き血液疾患の人に好適の飲料なり
發賣元 大阪 小西商店洋酒部
到る處の一流食料品店及洋酒店にあり

都筑能悌妻
美代儀本月九日病死致候間此段御通知申上候
葬儀ハ途中葬列ヲ廢シ十五日午後四時三十分永樂町西本願寺ニ於テ相營申候
大正七年三月十四日
男 都筑太郎
親戚總代 高木利經
名越常一
友人總代 蟻川享
飯田長十郎
吉田衞門
廣川謙吉

東洋捕鯨株式會社特約販賣店
鯨問屋 香月商店
京城府明治町二丁目四八
振替口座京城四八四六番
◉特約店希望の方は申込あれ

[illegible]

登錄商標
胃病なら イカイ胃散 が一番
飲過ぎ◉食ひ過ぎ◉消化不良 りういん◉胸の痞へ◉慢性胃腸
價 十五錢卅錢五十錢一圓二圓
本舖 大阪 江戶堀 諸岡史郎藥房
各藥店にあり


安心の出來る 化靴
ボックス皮製編上
一號金四圓五十錢
二號金五圓五十錢
三號金六圓五十錢
四號金七圓五十錢
ボックス皮製短靴
一號金四圓五十錢
二號金五圓五十錢
三號金六圓五十錢
四號金七圓五十錢
ボックス皮製深ゴム
一號金五圓五十錢
二號金六圓五十錢
三號金七圓五十錢
四號金八圓五十錢
右は精撰せる材料を熟練なる技術を以て入念に調製し一般實用紳士靴として最も好適なり御注文の靴の種類代金及足袋文數等御明記御注文次第送料實費にて御送付申上候皮見本附說明書
東京淺草
日野製靴店
(電話 京橋九三三番)

[illegible]

▲物は付け寄らしいものは
▲謎 新聞とかけて
二口斷時事

十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日

見本週間以上の掲載告者には五十錢普請券を呈す
▲宛名は京城日報社販賣局讀者文藝係

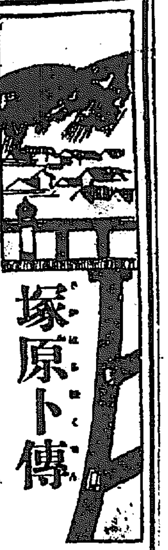
[illegible]

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第十六席

堅が樋口十藏も塚原の激しき太刀先を禦す間がなく、物の見事に眉間を打たれ、兩眼眩んで後へ下り『參つた』と聲を懸けるワーッといふ數萬人の聲、十藏光吉二年續けて勝を占め、今年こそ日本一の額面を、赤城明神の神前に掲げんとなしたるに、今此庭に於て仁科與四郎といふ人物に敗れを取り誠に以つて殘念なりと滿面紅を染めたる如く眞赤になつて幕の中へ引退ぞく、その時父の十郎左衞門『イヤ其方が負けても仕方がないアレは正しく塚原に相違あるまい、勝負に負けたと思へば決して恥にはならぬ』と言はれて十藏もさては左樣かと思ひ聊か心も沈靜たが、併し負けたのは如何にも無念であるそ十藏生涯他流試合をしなかつたといふ事であります、さて塚原は『小イザ此上は何人なりともお對手いたすに依つてお立出下さるやう』といつたが誰一人出る者がない、モウ十藏が負けて見れば此上對手になる者がない、神職官其れへ進んで『對手をいたす者なければ仁科與四郎の名を以つて額面を掲げ、弓矢及び源平一對の旗を與へるが人々異存なきや如何に……』と聲を懸けたる時に、大勢の見物の後ろの方より　新『アイヤ暫時、暫時お待下さい』と聲を懸けて其れへ進んだ者がある、人々何人なるかと振返つて見れば年の頃二十六七、色白くして滿面美玉の如く、削袖に短袴を穿ち、長刀を腰に帶し、管笠を手に掲げて大勢の人を押分け、其場に立現れましたる人物、之れ何人なるかといふに其頃、西國に於て鳳凰と呼ばれ、槍を執つては日本國中其右に出づる者なしと稱されたる龜井新十郎玆矩であります、此玆矩後に任官して武藏守と相成り、太閤秀吉の寵遇を受け因州鹿野城に於て三萬石の城主と相成りましたがまだ此時は新十郎の昔し、元來此人の先祖は畏れ多くも宇多天皇より出で佐々木源三秀義の末葉父を湯左衞門尉永綱と申し天文元年八月十五日出雲國湯の莊に出生いたしました父の永綱は尼子の旗下となつて富田月山の城を攻め、遂に討死をなし新十郎は幼年にして叔父龜井秀綱に養育を受け、其姓を稱へ、父の箕裘を繼いで武藝の志深く、若年ながら琢磨の功を積んで武藝十八番暗き所もなく就中槍は無邊流の奥秘を究めて海内無双と稱されました偖て承はるには上州箕輪の住人上泉伊勢守の門人にて塚原勝義は無双の技術東國に於て其右に出づる者なしとの事、是非一度手合せをいたしたいと思ひ其れには是非赤城へ出張して見たいと考へて居りましたが、折あしく其機を得ず、殘念に思ひ居りましたが今年は幸ひ關西の方の用事も片付きましたので、留守中の事は萬事門人の近江典膳に任せて遙て上州路を志し、赤城の山へ登て參りました來て見れば話に聞たより大した勝負、互に一勝一敗番數も進んで與庭の樋口十藏が目覺しき働きをなし、日本一の額は此人の手に落るかと思はれたる處、常陸浪人仁科與四郎と名乘る人物が顯れて見事に十藏を打込み、弓矢及び源平の旗を受け日本一の額面を得やうといふ案外の場合に相成つた、新十郎が仁科の有樣を見て之れは正しく塚原に相違ない、餘人に此立合は出來ぬ、多年の宿望塚原なれば幸ひ一手の勝負を望み、運好くは之れを打仆して我こそ日本隨一の名を顯得んと考へましたから、大勢の人を押分け其れへ進み出で聲を懸けた、神職が　神『何んでござるか……』　新『拙者は大津の宿にて山本無邊流の槍術を指南いたし居る近江典膳と申す者、仁科殿と一手の勝負を試みたく存じ立出でましてござる』と申入れた。



女髮 生徒募集 日本全國於美髮 元祖教授三ケ月卒業 京城本町一丁目 婦人高等美髮學會 ▲會則郵券三錢送附あれ送る

曆 三月十六日 九星 舊二月四日 壬戌 本命二黒 坤 危 大安

▲二黒● 親切の屆かぬ事有日新事見合方は吉 略劍 坤 ▲三碧● 苦々敷事有日斷事手控吉 ▲四緑● よ事は吉女子は心を美にもたるべし ▲五黄● 頑固な事有日新事手控者の事は吉 ▲六白● 愉快の日轉居開業入學名 弘求 職縁 ▲七赤● 開店 日轉居 ▲八白● 職縁相談 事皆吉 ▲九紫● 大望夫就の日轉居開業 ▲一白● 入學名 [illegible] 日新事手控 ▲二黒● [illegible]

最上清酢 日本一 マルカン印

ヨ ほまれ味噌

最上 龍 醤油 日本醤油株式會社 京城出張所 電話二四五番

わきが にて今迄後是と他の薬を用ひ効なき方は特効薬ファーザーを御用ひあれ 價六十錢一圓 電話二九四九番 京城黄金町三丁目 山田文珠堂藥房

ぢんぞう 腎臓炎・蛋白質排泄・困難せらるゝ慢性も早も効顯著しき良藥あり 病困難の方は薬番にて照會れ詳細 ●播磨國明石楷屋町 天龍堂

流經新薬 月經 レスノリン 閉止四五ヶ月以内に確實の流經作用を以て容易く應用の目的を遂し得られ他薬に優越せる効果を有す藥價一瓶壹圓五拾錢 送料内地三十錢海外州錢切手一割增 說明書二錢切手添 市內越進呈 振替大阪三六〇吉番 大阪北區分根崎上一丁目三六地 發行所 常盤藥院

演藝案内

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番

一座語楽會 京阪落語若手一座 ○毎夜六時より開演 東京に於ける重鎮三遊派幹部長として本談 ▲落語（遊三）▲落語音曲（笑三）▲落語手踊（遊生）▲落語音曲（花輔）▲手踊（三輔）▲落語（右圓遊）▲手踊（歌六）▲落語、音曲（圓都）▲落語大切喜劇（惣出）入場料は遂夫人入の御得として特に從前通り

大正館 櫻井町 電話八七三

日本活動寫眞株式會社特約館 ○當る十五日より特別大寫眞 ○貳數奇形動物（學術參考）○喜劇新客踊場○ △日活會社向島撮影 ○新派お伽劇「浮れ胡弓」全三巻 [illegible] ○大活劇第七編の爪 四巻上場 [illegible] ○△日活向京都撮影 ○舊劇「江戸黒虎五郎」全四巻 [illegible]

壽館 京城本町 電話一〇五〇番

當る三月十五日午後五時より 富岡旭貴女史後援筑前琵琶演奏會 ▲赤垣源藏（貴樂）▲小敦盛（貴鶴）▲備後三郎（貴洲）▲常陸丸（貴秀）▲宇治川（下）（貴翁）▲小督（貴松）▲重松中尉（貴水）▲宇治川（上）▲伏見吹雪（貴水）▲大高源吾（貴操）▲乃木將軍（貴樂）▲川中島（貴山）▲南部坂（貴川）▲鉢の木（貴川嬢）▲本能寺（貴山）▲佐渡の若竹（貴穂）▲高田の馬場（貴夢）▲合奏 士（北條、貴水、貴樂、飯田、貴川、旭藻）▲湖水渡 鷹坂▲扇の的（北條夫人）▲伊賀の闇（中村旭嫩）（飯田夫人）▲滝川（石田旭藻）▲橋中佐（角旭王）▲茶臼山（龜川旭江）▲屋島（富岡旭貴）

壽座 京城壽町 電話五七八番

當る三月十二日より公演 世界的大魔術松旭齋天一嬢出演 天下一品との稱ある 自轉車大曲乗 師横井鐙楠春嶋 プログラム……小奇術 自轉車曲乗 大魔術 翻譯劇 山蔵 奇術應用喜劇 登場人員男女二十名出演ス

稻荷座 本町五丁目

毎夜大入の爲十四十五二日間日延 原天華、京山圓玉 競演會 毎日午後六時半より 七日目 ▲明治孝子傳（雲井悪郎）▲櫻川五郎 藏（京山小玉）▲鍋島猫騷動（無相 軒富士丸）▲水戶黄門（京山照國）▲滿洲之花（原天華）▲赤垣德利の別れ ▲大久保タライ登城（京山圓玉）▲十五日 南部坂雪の別れ（京山 陽十二郎 妻子別（圓玉）

黄金館 電話二六三七 二六六

天然色活動寫眞株式會社直營 [illegible] 當る三月十五日より ▲滑稽 [illegible] 二十世紀スミー ○舊劇 加藤淸正 全四巻 [illegible] ○泰西活劇 野火 全四巻 新加大作品臨時公開 陸軍大將乃木將軍 [illegible] ○乃木將軍臨終の巻 [illegible]

有樂館 活動寫眞常設館 黄金町 電話（局上）五九七番（局下）二〇五番

[illegible] 當る三月十三日より公開 ○滑稽ヤクザ者 全三巻 ○人情劇 春夢 全五巻 [illegible] ○社劇 新らしき女 全四巻 [illegible]

大募集 至急申込 自動車飛行機自動艇及發動機一切の最高智識ある技術家養成の爲め今回高等科を新設し四月一日開始 短期の専科校外生も技術者販賣係として月收百圓以上に成功す 東京京橋 大阪分校 南紺屋町 新設 特典雜誌規則送 東京自動車學校

職業 工賃日拂製品○熟練日收壹圓 永久買受契約 ◎特約店募集 說明見本八錢要 品質優美 女子宅出來 休職無業 大阪北區福島中二丁目 電停留前 一葉商會本店

りん病 消渇で困る方 三錢送れ自宅で秘密に治す妙薬を 人助けに無代でお教へ致し升 名古屋市南かじや町 武藤 龜吉

強胃消化錠 マーゲン 本舗 大阪上本町五丁目 田畑保壽堂 特約店 京城南大門通二 新井藥房

ルーデサック 男用一打 四拾錢 特製六拾錢 [illegible]

有効保證 痳病梅毒專門薬 痳病梅毒自宅療法申込次第進呈 京城永樂町二丁目交番北 東京 ドラッグ商會 本舗

ひぜん水 ヨクキク！ 大阪市西區新町通二丁目 本舗 田知本和三郎製 各藥店に販賣す 振替大阪二八八番

婦人良薬

中將湯の愛用者は日増に非常な激増です

信用

中將湯は効驗の偉力で賣り識められた靈藥であります。一度中將湯を試みられた御婦人は一生中將湯の愛用者となるばかりか、中將湯の卓れた効驗はそれからそれへと賣物廣告をして下さるのです。そこで現在では海外諸國にまで多大の輸出をなするといふ非常な勢力で厶います。

成分

中將湯の靈妙偉効はいかなる作用であるか？その有効成分は何んであるか？といふ研究に就きましては專門大家がいろいろと苦心して化學分析も致しました結果、單に分析表に現はれた有効成分以外に微妙な成る成分が含有されて居つて、未だ現在の化學の機能でも充分な說明を與へることの出來ぬ不思議な効用をなすのであるといふ事が判明しました。

効果

中將湯の効能は御婦人方の既に知らるゝ如く、婦人一切の疾病に卓効があるので、その藥効作用の一例を申しましたならば、中將湯を振出して服用され、中將湯の成分が全身に循環致しますと血液の循環を順調旺盛ならしめて、血液を清淨ならしむるのであります。そこで月經不順などはキチンと調ふのであります。

血の道 子宮病

主治効能

●子宮病 ●產前產後 ●下腹痛み ●月經滯り ●癇高ぶり ●內膜炎 ●血の道 ●血ぶとり ●夜眠れず ●腹加答兒 ●つはり ●婦人神經 ●逆上頭痛 ●氣ふさぎ ●難產流產 ●腰足冷込 ●こしけ ●月經不順

定價表

二日分	二十五錢
四日分	五十錢
七日分	八十錢
二週分	一圓五十錢
三週分	二圓十錢
五週分	三圓二十錢

加減薬

御容態をあらましお書いて振替か普通爲替で御申越あれば御容態に合せて調合した加減薬を御送り致します加減薬は本舖以外には發賣して居りませぬから直接御注文下さい、市内は電話かハガキにて配達無料にて御届け致します。

一週分 一圓 定價 三週分 二圓七十錢

發賣本舖

自ら申すも嗚呼がましくはありますが、本舖は日本一流の藥店で工場の完備せる營業振りの確實なる、堂主以下數百名の店員は飽くまで國產靈藥中將湯の盛名を完ふすべく努力して居ります。

中將湯

東京市日本橋區通四丁目 津村順天堂本店 電話本局 六二六三 六〇八 振替東京

大阪市堺筋大寶寺町 津村順天堂支店 電話南 一二五 振替大阪四五六

中將湯は世界到る處の藥店にて販賣す市内配達無料とす

京釜線（南行）　同（北行）　釜山連絡　京義線（北行）　同（南行）　湖南線（南行）　同（北行）　京仁線（仁川行）　同　京元線（北行）　同（南）　[illegible]

京城日報
第五版
十五日朝刊 (朝夕刊併せて八頁)

本紙定價 △一部金三錢五厘 △一ヶ月金五十五錢 …
廣告料金 …
京城太平町通一丁目
發行所 京城日報社
電話 編輯局長三四五番 營業局長二一四番
振替貯金口座京城三〇〇番
發行兼編輯人 奧山 治
印刷人 小西三之助

大阪米 … 十四日後場 大阪電報未著の理に先限三寸一圓三錢と押し … 錢九十錢 … 四錢安に寄付 …

寄付 後場 高値 安値 引け … 二十一圓 … 二十二圓 …

決戰か講和か

京城日報

最近獨軍愈々西部に向て進撃を開始するや、獨逸は單り歐羅巴露西亞を征服するのみならず、更に其手を亞細亞に伸ばして滿洲蒙古及び印度を衝くの計に出づべしと爲す者ある他の一方には、獨逸宰相は帝國議會に臨みて、米國國務卿ランシング氏の言を根據と爲し獨逸は或條件の下に米國の提議を容れて、一般的講和を行はむと欲するものなることを表明するあり、大體より云はゞ、獨逸は今や一日も早く和を講せむと欲して、其手段を盡くしつゝあるもの如し。

客臘以來、獨軍西部戰線に於て大攻勢を取るべしとの取沙汰專らなれども、世間只其聲を聽くのみにて、今以て其實を見ず、或は曰く瑞西より巴里を衝くべしと、或は曰く伊太利より巴里を衝くべしと、或は曰く伊太利を席卷すべしと、然れども是れ皆風聲鶴唳に驚くの類にして、今日に於て一も其の事實を見ざるのみならず、恐くは將來に於ても然る事は無かるべし、今日中歐同盟といふも、墺洪國及び土耳古、勃牙利は固より言ふに足らず、其中核たる獨逸は、獨力以て協商國に當り、今日までの成績は甚だ彼に有利なるが如くなれども、彼とても其力自ら限りあり、今や疲困其極に達して復た爲すある能はず、特に其國內に實力實權漸次社會民主黨に移り、政府は政治的改革と平和回復とを豫約して以て纔かに一時の無事を保つといふ有樣なり、昨秋以來、數ば革命勃發の兆あることを傳ふるも、其の能く彌縫し來れるは、露西亞及び羅馬尼との講和談判を開始したるとに依りて人心を慰め得たるが爲めなり、然るに今に及んで獨逸政府自ら量らずして、新たに西伯利亞に新たなる戰を開くが如きをあらむか、其國內はこれが爲めに一大騷動を引き起し來らざるべからず。

獨逸の志は速かに決戰するにあるか、將た又徐ろに講和の步を進むるにあるか、是れ今春以來、各國有識者の間に一大問題にして英佛伊諸國當局者は、前者なりと認めて其の對應の計を全くするに忙はしく、過日のヴェルサイユ會議のごときは、畢竟大決戰の準備行動と見るの外なし、蓋し獨逸は露羅兩國と和を講ずるを機として其戰線の兵を他に移すを得べく、其兵員にして西部戰線に集中せらるときは、同方面より攻勢を取る同處に大活躍を試むべきや論なく、若し伊太利戰線に集中せば、して、敵軍其勢力を增加せる處より進み來るべしと爲すは、則ち正當なる推測なれば、協商諸國が其々の準備を整ふるは、固より其處にして、吾人は決して之も不可なりとするものにあらず、且露領西伯利亞には、獨逸將校士卒の俘虜の自由を得るもの極めて多數なる上に、過激派政府なるものは獨逸の手先きなりと指目せらるゝ所にして、或は過激派政治家と獨逸俘虜と相依りて、何等かの企畫を爲すともこれ無きを保せず、我日本及び支那等、交々其の自衞の計を講ずるの必要あるとは、言を待たざれども、今日の獨逸の情形は、則ち前に述ぶるが如くにして、今更に新たなる方面に事を構ふるの意思能力なく、獨國內は今後益々擾亂を重ぬべしと雖も、一定の目的一定の經畫の下に、大事を企つるが如きとは、蓋し不可能なり。

遊支偶錄

蘇峰生

(五四) 孔夫子は老莊商韓の下た働き役者のみ

然も吾人は儒教を、全く空文視せんとする者にあらず。但だ儒教は、寧ろ主義としてよりも、他の主義を實行する方便、調子、色彩として、若干の効能ありし也。

蓋し儒教の、支那に歡迎せらるゝ所以は、便宜的、妥協的、臨機應變的の作用を、教ふるが爲めにあらざるなき乎。所謂る孔夫子の時中の說法は、妥協宗の金科玉條にあらずして何ぞや。予は曾て上海に於て、革命派諸氏と會合の折、孔夫子こそ支那の一大痼疾たる、妥協宗の開山なれと喝破したるに、譚人鳳氏は、頗る不服にて、異存を陳べたり。然も譚氏にして、若し平心に考慮せば、恐らく予に首肯せとも握手し、季氏の家臣公山不狃や、趙氏の家臣佛肸の謀反にさへも、與みせんとしたる方面に隨喜し。事大、向利、就易を以て、中庸の本旨と心得るに到りたるが如き、固より孔夫子其人の素志にあらざる可きも、亦た以て儒教の流弊と云はざるを得ず。

斯く觀察し來れば、儒教は老莊、商韓の虛無、刑名の思想を、矯正する能はざるのみならず、寧ろ此の思想を圓滑に應用し、踐履する方便となり、手段となり、云はゞ孔夫子が老莊や、商韓の下た働らきせざるを得ざる可し。

孔夫子其人に取りては、必らずしも妥協のみを以て、始終したるにあらず。されど後の孔子の教を奉ずるものは、其の朝に出で、陳恒を討せんと正言したる、正邪善惡、理非曲直の差別よりも、寧ろ陽虎なりたるが如き、結果を來たしつゝあるは、孔夫子其人の爲めに、甚だ心外千萬と云はざるを得ず。吾人は必らずしも之を以て、孔夫子を罪せんとする者にあらず、但だ事の成行を率直に語れば、此の如きのみ。

宋以前の繪畫(五)

於京城倶樂部 今關天彭氏講演

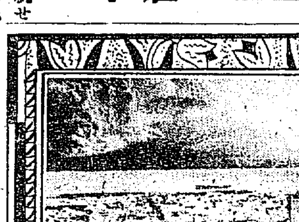
丙、畫學

繪畫に關する種々の著述を網羅するのであるが主たるものは論書である。宋以前の著述としては、先づ指を唐の張彥遠の歷代名畫記に屈せざるを得ぬ。この書籍は凡そ十卷で、畫の源流から說き起し、唐に至る消長の跡は勿論、六法の事及び南北朝に於ける畫の傳統、それから畫の價格やら鑑識法、收藏法、閱玩法、裝裱法などに就いても論評を加へたるのみならず、上古より唐末に至る畫人三百七十餘人の小傳をも收めてあるから、畫學に志ざす人はぜひ一讀せねばならぬ。この書籍に續く書物は、宋の郭若虛の圖畫見聞志であるが、これは次講に讓る。要するに宋以前の繪畫に關する畫學は、歷代名畫記で盡きるのであるが、この書籍は津逮秘書と云ふ叢書に收まつて居て、別に單行本がないので、甚だ不便である。自分は先年東洋畫論集成を編輯した時、その中の畫論の部分だけ拔萃して置いたが今から思へば全部十卷收錄して置いたら好かつたのである。この書籍の外には貞觀公私畫史などが參考になると思ふ。

丁、畫品

畫品の品は即ち品評の品で、諸家の畫いた畫の位を極め若しくは品評するのである。畫の品評の最も古いのは、南齊の謝赫の古畫品錄を推す。この書物は、六朝の畫家を吳の曹不興から南齊に至る代表的畫人の等級をつけたものであつて、そのつけ方に第一品から第六品で凡そ六等二十七人である。謝赫は何う云ふ考へか、古來畫聖と呼ばるゝ晉の顧愷之を第三品の第二に坐らせ、宋の陸探微を第一品に坐らせたので、後來議論の種を蒔いた。これに續いて出來た陳の姚最の續畫品は、宋齊梁の畫人二十人ばかりを、等級を附けずに短評を試みて居るが、その著述の主眼とするところは、謝赫が陸探微を第一位に推し、顧愷之を貶したのに不滿を抱くからである。この二つの書物に續いて出來たのは、唐の李嗣眞の畫後錄で、漢末から唐初に至る代表畫家の名だけ列ね、それを上品上、中品中、下品下といふやうに九等に分けた。これは陸探微が上品中の第二で顧愷之は中品上の第五である。かやうに顧と陸とが始終變化するのは評者の好みで致方はないが、自分は張彥遠のやうな具眼者が顧の最負であるところから見て、顧の方がどうも勝れて居るかと思ふのである。前の三著述の次に唐の彥悰の後畫錄が出た。之は南北朝から唐の貞觀頃までの畫人二十七人を列擧して、等級をつけずに短評を試みて居る。次に朱景玄の名畫錄が出た。この書物は、唐代の畫品の例によつて、唐代の畫家百二十六人につき、神、妙、能の三品に區別し、また三品を上中下に區別して九等とし、この三品の外に逸品といふのを置いて、常法に拘泥せぬ畫風を品評して居る。因に張彥遠の時代たる唐末では、董伯仁、展子虔や閻立本、吳道元の畫いた屛風は金二萬、或は一萬五千を相當の價格とし、楊契丹や閻立德の畫いた屛は金一萬を相當の價格とすると云ふ事である。此價格は當時眼識のある紳士の買ふ相當の價格であつて、今日の成金輩の價格とは違ふのであるが、ナカ〳〵高價なもので、寶繪と云ふ意味が能く呑みこまれるのである。

九州視察團


鹿兒島市街

筑後川の鐵橋

太宰府梅林

視察團を歡迎する九州

本社主催九州視察團の擧は、果然各縣各市の官民諸氏に多大の賛同と非常の好感を以て迎へられ、實行に關する諸般調査準備の爲め汎ねく視察地を歷訪したる我社準備委員との間に協定、四縣五市に亘り前後六回の盛大なる歡迎會催さるゝ事となりました。即ち

◆福岡市 共進會協贊會歡迎會(四月十七日)◇福岡官民招待會(十八日)◆熊本市 熊本官民有志歡迎會(廿日)◆麑島市 麑島市官民有志招待會(二十一日)◆久留米市 博覽會協贊會歡迎會(二十二日)◆大分市 大分官民有志招待會(二十五日)

等にして斯る絕好の機會を利用し互に交驩すると同時に席上各所共選拔代表者の趣味饒かに實益多き講話ある事に決定、更に各視察地に於て團體見學の際は、何れも其地官民有志の代表者十數氏は團員の爲め先導說明の勞を執らるゝ事となりて居り升。

主催 京城日報社 每日申報社

錺

布施生譯

十九

御承知の通り師匠の宅は前面は賑やかな大通りでございますが横町は淋しい寺町でございます、私は畫匠の宅の横手へ廻りまして塀に身を凭せながら、あゝあれが町子の部屋だ、一目會ひたい聲が聞きたいと氣を坐ろになつて居りますと、如何でございましやう、背後からぐッ〳〵と私を押斥る者がございます。驚いて振回ると石の地藏樣が動いてゐるのでございます。

聞惚れてゐた學士は我と我身を疑ふやうにおつ〳〵と織衞の顏を見た。

織衞は其氣色を見て取つて言葉を繼ぎ『御不審は御尤でございます。御承知でもございましやうが寺町通りの片側はずつと土塀になつて居りまして二三間毎には窪みがあり石の地藏樣が立つて居ります。其地藏樣が一人で動いて私をぐい〳〵押斥るのでございます、私は膽を潰して飛退きながら怖さ半分見て居りますと地藏樣はずん〳〵動いて半面くるりと向返るあとには深い孔が壁に出來ました其內地藏樣が動き切つてしまひますと地藏樣の脊中に附着いて穴の中から出て參りました黑い人影、身輕く街に飛降りて地藏樣を元の通りに向直し足早に大通りの方指して下つて參ります。

此時廊下が騷がしく大勢の足音入亂れるのを織衞は聞いて苦笑し

『はゝあ、私が逃げでもするかと思ひまして出番が手配してゐる樣子でございます、私が何逃げますものか、それは兎に角唯今申しました通り妙な處から出てすた〳〵街を下つてゆく怪しい男、私は深く考へる暇もなく思はず後に蹤いて往きますと五六間往つた街角で曲者は不圖背後を振回りました、御承知でもございましやうがあの曲角には小さなお祠がございまして常夜燈が點いて居ります、其の燈明で振回つた曲者の顏を見ますと如何でございましやう、それは師匠の輕地ぢやございませんか、

私は思はずあつと致しました。併し師匠は話に聞いて居つた夢中夜行とか云ふ病氣であらうか元來今時分起きてゐる人では無いのに今日に限つてこんな夜中に起きて妙な事をする之は猶更前途を見屆けなければ心配だと其儘忍んで後について參りました。

防寒建築案募集

本社の懸賞募集中なりし防寒建築案は既定の如く愈々今十五日を以て締切りとなし四月一日より一等より順次三等迄本紙上を以て發表すと同時に賞金を贈呈す

京城日報社

廣告

公示催告
大正七年(ホ)第四七八號
京城府南米倉町二十三番地
乾物商 申立人 辻本嘉三郎
一、荷物受取證壹通
但番號一〇六號、運送品監 容積二十七才六荷 印荷造ノ種類及個數タル六個 價格金四百圓 陸揚港京城 荷受人京城府南米倉町二十三番地 辻本嘉三郎 … 大阪商船株式會社 …
右證券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其ノ所持人ハ大正七年九月三十日午前九時迄ニ當院ニ屆出テ且其證券ヲ提出スヘシ若シ其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ右證券ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
大正七年三月十三日
京城地方法院

生徒募集廣告
本年四月入學セシムベキ生徒左ノ通リ募集ス
豫科第一學年 約五十名
同 第二學年 約四十名
本科第一學年 約三十名
入學志願者ハ三月二十日以後ノ官報ヲ參照スベシ
仁川公立商業專修學校

看護婦科生徒募集
四月一日新學期開始ス入學志願者ハ三月十五日以後ノ官報ニ據リ同二十八日迄ニ願書ヲ提出シ二十九日午前九時迄ニ試驗ノ爲出頭スベシ
朝鮮總督府醫院

朝顏の花
卉類 蔬菜 美麗一切
目錄無代進呈
尾張國稻澤町 愛知農園

來ル四月十四日本府及各道(京畿道ヲ除ク)ニ於テ見習試驗ヲ施行ス志願者ハ三月九日、十一日、十二日朝鮮總督府官報廣告見習試驗志願者心得ヲ參看シ三月三十一日迄ニ試驗ヲ受ケムトスル官廳ニ出願スヘシ
大正七年三月
朝鮮總督府見習試驗委員長 荻田悅造

勸業債券割賦販賣
公債債券現物賣買
有價證券擔保貸附
荷附爲替引受金融
恩給年金 低利長期 立替
京城若草町百六番地 西村商會
電話三千十一番 振替京城六五九番
地方顧客の御便宜を計り代理部の設置あり京城に於ける御用辨は迅速取扱ひ可申候也

謹告
從來の店舖は陝隘の爲め御得意樣各位に常に不行屆勝ちと相成居り候に付き今回
長谷川町(朝鮮銀行前) 電話長一〇六番 器械部を
卸 通信販賣部
六器械部跡(京城府廳横)に移轉致し一層業務勉勵仕るべく候に付き何卒倍舊御引立の程御願仕り候 草々百拜
京城本町一丁目 電話二〇一四 山岸天佑藥房

專賣特許第三二〇六九號
木材防腐防蟲劑
クームヒン
白蟻、涙菌に特効あり
……說明書御申込次第送付……
京城旭町一丁目 製造發賣元 山田商店
電話一〇七八番 振替三一九六番 龍山電話四二四番

東京市日本橋區南茅場町五十七番地
債券株式會社
◎抽籤は毎月一日、十四日に致し升
第六十八回 二千圓 新債券
◎極めて斬新な月賦賣の案內進呈し升
販賣人 御希望の向は御申越あれ

補欠募集
東京植民貿易語學校 (神田區一ツ橋通廿番地)
顧問 法學博士 新渡戶稻造
校長 農學士 志賀重昂
法學博士 小林丑三郎
出願 三月廿五日限
特色 各國民地南洋南米支那印度等の會社貿易商と連絡あり▲就職を紹介す
資格 商業科は中學卒業▲本科は小學卒業
學科 英、支、馬、西語本科一年各二十名宛▲商業科二十名宛

早稻田大學學生募集
大學部: 政治經濟學科、法學科(獨法、英法)、文學科(哲學、英文學、史學及社會學)、商科、理工科(機械、電氣、採鑛、建築)
高等師範部: 國語漢文科、英語科
各科第一學年 一期
△上記各科共四月一日(月)午前八時迄に學力考査試驗を行ふ。
△中等程度學校卒業者に限り無試驗入學を許す。
△理工科志望者には無試驗入學の特典なく總て學力考査試驗を行ふ。
○入學願書は三月三十日迄受理す。
○授業は四月十日より開始す。
○規則は郵券二錢封入請求のこと。

一ヶ月遲れ諸雜誌半定價
規定定價表郵券貳錢封入請求あれ
東京本鄉區彌生町 合資會社東京雜誌會

株式
取引は如何にすればヨイ乎
質問隨意 無料回答
▼株式取引とは果してドンナもの乎?
▲如何にせば株式成金となり得る乎?
▼如何にせば株式の損失を免れる乎?
▲株式へ出陣の好期は何時がよきか
▼今はドノ株を買へばキット儲る乎?
(以上の疑問を存せらるゝ方は經驗の有無を記入の上御申込めば無料にて詳細說明の勞を執る)
東京市日本橋區坂本町東京株式仲買人 沖野仲買店地方部主任 古島茂三郎

新古麻袋麻絲 小麥粉袋製造商
鑛山用麻袋
精出勉勵可仕候 條御注文願上候
門司市外大里 合資會社 石川商店出張所

愈々終結に近つかんとする第十三第十四編を勿見逃す
第七回 鐵の爪 全三十二卷の內 第十三十四編四卷
部下の裏切…復面の怪美人…仕掛のトランク…列車線路の間一髮…マンレーの活動…復讐手段…油斷のない鐵の爪…怪美人は何者!…
日活 舊劇 江戶屋虎五郎 四卷 目玉松之助出演
新派 喜劇 浮れ胡弓 三卷 立花貞次郎出演
十五日より 特約 大正館

營業案內
季節品揃急告
メリヤス類一切、文房具一式
洋傘、各種帽子、旅行用具
日鮮向雜貨
多少に不拘御用命の程願上候
京城南大門通一丁目 諸雜貨卸商 瀨戶商店
電話二七一七番 振替二四〇一番

獨逸東漸と極東

▲五强國内に産業的革命を惹起せしめん

獨逸はレーニンに依りて米國、日本、佛國、伊太利及び英國内に産業的革命を惹起せしめんと計畫中にて既に大々的の攪亂を爲すべく煽動者を輸送する爲め數隻の傭船を浦鹽斯德に準備せり(露都領電報)

▲過激派軍邦人團衝突眞相

ブラゴエチエンスクにて邦人の死傷者を出したる事件の眞相を聞くに近來同地にては過激派の勢力加はり來り一時は絶望的悲運に陷りしが其の對岸ヘーホ(コク河)に避難し居たる九十五名の露國將校等蹶起しヘーホ在留の我が在郷軍人義勇團の援助を得てブラゴエチエンスクに渡り兵器を受取り歸還の途過激派の爲め邦人四名捕縛されたるを以てブラゴエチエンスクの義勇民兵隊は之れに激昂し西伯利銀行支配人及び各國領事將校團の再三の懇望に依り二十九名の我ヘーホ義勇兵員は武裝して彼等を援護するため過激派を攻撃し勝利を得たるが此際最初の犧牲者として死者三名重傷者四名を出せる譯なりと(哈爾賓電報)

▲對露官憲最後通牒

浦鹽駐在聯合國領事團は同地官憲に對して最後の通牒を送り政府を復興せん事を要求せり(露都電報)

▲墺俘虜兵を軍務に

イルクツク俘虜收容所長露國大佐は約一週間前露軍大編成に關する電報命令を受けたり其の内容に曰く軍の三分の一は墺太利兵を用ふべしイルクツク收容所には獨逸兵のみ三萬人を收容すべしと又獨逸の一隊は自動車隊長たらんことを懇請せり(哈爾賓特電)

▲過激派橋梁爆破

滿洲里の形勢は變化無きも支那軍は引續き國境附近の陣地を占領せんとしつゝあり過激派の增援隊は續いて到著せり、ハバロフスクよりの來報に依ればブラゴエチエンスクより自衞軍の前進するを阻まん爲め橋梁二個を爆破せり(哈爾賓特電)

▲獨兵坑夫に變裝

坑夫に變裝せる多數の獨逸俘虜將校はクラスノヤルスク附近に下車同所より續々イルクツクに入り込みつゝあるのみならず歐露よりは野砲裝甲自動車を輸送しつゝあり(哈爾賓特電)

▲英武官一行行惱

英國大使館員及び陸軍武官一行四十餘名は三月一日佛、白、塞爾維、希臘使臣一行と共に露都を引揚げ芬蘭經由歸國の途に上りたるも同國タンメルフオルス迄は鐵道連絡ありたるにも不拘其前方に交戰地帶ありて通過に多少困難を見たるが遂に十日ストツクホルムに到著せり(ストツクホルム電報)

支那の形勢

▲我對支外交と南北妥協機運

今は内爭の時にあらず

支那の邊境漸く事態險惡を告げつゝある今日支那が依然内爭を事とするは東亞の危機を釀成するを以て我政府は茲に新しき立場より南北妥協を忠告することに決し林駐支公使の北京歸任と共に新局面の展開を期待しつゝ有り斯くて我對支外交の進行を見んとするや支那政局は主戰派督軍の軟化と共に漸く茲に南北妥協の機運を誘致し從來主戰論を持し居たる張敬堯、曹錕氏等は西伯利亞の事態危險を告げたる今日内爭に狂奔するの愚なるを宣言し南方討伐軍は事實上戰意なく大勢は翕然として南北妥協に向ひたる際突如張督軍の出兵の爲め馮總統は再び苦境に立ちたるも右の如き機運に向へる情勢は寧ろ馮氏に對する同情となり馮氏の地位は漸く安泰となりたるが此機運は我對支外交と相俟ちて必ず南北妥協を實現するに至る可しと觀測せらる(東京特電)

▲張氏馮總統に要求

徐、段兩氏の出廬を促さん

張作霖氏は馮總統に宛て

一、李純を安徽より去らしむる事

二、現在の總統政治を廢し强固なる責任内閣制を組織する事

三、斯て内亂を鎭定し外交問題に關して日本と共同行爲を執る事

右三條件を提出し、若し總統が之れを容れ第一第二の事項に關する命令を出すを約せば灤州の兵を引揚げ漢口に送る可しと申込めり、馮總統は是れに對し現在の形勢にては徐世昌氏か段祺瑞氏が出廬するに非ざれば時局收拾の希望無しと若し徐段兩氏の中總理となるを承諾せば貴督軍の意に從はんと回答せり依りて張氏は即時各督軍に宛て徐段兩氏を出廬せしむ可く打電せりと(北京特電)

▲奉天軍列車檢查

奉天軍は廿三日又復郎坊に到著兵士は列車内の乘客に對し檢查を行ひ爲めに列車の到著一時間以上遲延し多大の迷惑を感ぜしめたり、依つて政府は張督軍に電報を送り右の檢查を中止せしむるやう其の部下に命令を發せん事を要求せり(北京電報)

▲北軍の岳州包圍

北軍は數日に亙る戰鬪の後南軍を擊攘して新堤沖を占領し岳州包圍を開始せりと(漢口特電)

▲和蘭汽船の抑留

和蘭汽船六隻香港に抑留され和蘭船舶も亦出港を禁せられたり(香港電報)

◎英國軍事費總額

英國政府は七日議會に於て來年度第四回戰時軍事費二十四億五千萬磅支出を要求せり此の軍事費を合すれば開戰以來の總額六十七億八千二百萬磅に達す(倫敦電報)

◎墺軍行動進捗中

五日墺公報に依れば小露秩序恢復を目的とする墺軍の行動は進捗中なり(倫敦電報)

◎ゼーア河畔の激戰

反過激派軍の哥薩克三千四百と赤衞軍一千とは六日よりブラゴエチエンスクにて衝突し數日に亙りゼーア河畔の鐵道沿線にて激戰あり我自衞團亦過激派と戰つて死傷者あり(哈爾賓電報)

◎井上元帥訪問

海軍大將元帥井上良馨子は十四日午前十時海軍省に抵り島村軍令部長を訪ひ何事か鳩首凝議する所ありたり(東京特電)

◎林公使通過

林公使は途中迄出迎へたる板久保領事官補等と共に十四日午後五時五十分滿鮮急行列車にて著、安官民多數の出迎へを受け貴賓室にて少憩の後六時十五分發歸任の途に就けり(安東特電)

◎朝鮮銀行法中改正法律案

政府は十四日朝鮮銀行法中改正法律案を衆議院に提出したるが其改正要旨左の如し(東京特電)

一、新に副總裁一人を加ふ

二、銀行券發行制限三千萬圓を五千萬圓とす

三、信託業務の開始

◎獨逸俘虜活動

▲西伯利亞は獨逸や墺太利の捕虜を……つたからである

▲西伯利亞も固より其例に漏れた……い西墺の捕虜は十何萬といふ數に……

▲西伯利亞の住民と云へば八割方は教育も何もない農業移民で足袋……トムスクに開かれた西伯利亞の自治會は過激派の手で廢らず逮捕さ……んで居るのもあれば鐵道の運輸の……方に入り込んで居るのもある……一度此の旅券を手に入れ露西亞の片言交りでも話せれば獨逸人は西伯利亞を活歩するに不都合がない……し又イエニセイ河の汽船も沒收されて了つたのだが獨逸が何時でも其の黒幕で働いて居る……し聯合國顧ゐるべからずといふ事になるとのプロパガンダの効果は馬鹿にならない

▲さうして居る間に獨墺の勢力は東部西伯利亞へも殺到して來さうで西部の諸都市にはもう獨墺の商……を扮裝して……

孫錫俊(三)は三月五日午前十一時頃集金したる會社の金五百六圓を拐帶して行衞不明となれり……

◎平井副總裁近く辭任せん

鐵道院副總裁平井晴二郎氏の任期は近く愈々滿期となる可く同氏は此機會に辭任せんとの意あり其後任候補者として工學博士野村龍太郎氏、同大屋權平氏、鐵道院理事木下淑夫氏、同長尾半平氏等傳へられ居るも結局大屋氏就任の事となる可きかと傳へらる(東京特電)

◎新田工務課長

朝鮮總督府鐵道局工務課長新田留治郎氏は十三日朝長春より來奉大和ホテルに入り同氏は十六日北京に赴く豫定なり(奉天特電)

◎井上參謀視察

十三日來元せし井上海軍參謀少佐は十四日朝八時松田灣に急行せり(元山特電)

◎白隱元豆好況

昨冬來境方面の白隱元豆は突飛なる價格の騰貴を見たるより農家は何れも自家所用の種子のみを殘し他は悉く放資せるが斯く逐年白隱元の好況なるより農家の勃興にて各農家共本年の播種反別增加を期し居る有樣とて遂に種子不足を生じ昨今にては一旦淸津市場に搬出せるものを更に奧地に逆輸入しつゝあり隨つて相場も石六十門と云ふ突飛なる價格を唱へ居れり尚ほ白隱元栽培は獨り朝鮮人のみならず内地人にても本年は之が栽培を試みんとしつゝあるを以て本年の作付反別は昨年に二倍或は三倍するの盛況を見んか(淸津)

一方寄託は輸送力以上の觀あり北鮮貨一掃の期は猶ほ遠かるべし

第四十回帝國議會(東京特電)

衆議院(十四日)

▲豫算總會

十四日午後衆議院豫算總會に於て尾崎行雄氏(憲政)は外交質問を試みて寺内首相との間に問答ありたり

▼尾崎行雄氏(憲政) 我國より支那に交附せる兵器は張作霖に掠奪されたりとの事なるが張作霖は我國の軍事顧問を置けるものなるに我政府の斡旋せる兵器を途中に掠奪し是れに依り一部の兵を武裝し北京に進めたるは何等かの事情ある可し是等の事實の說明を求む

▼寺内首相 兵器は泰平組合の手を經て支那政府に渡す事と爲り居り泰平組合に渡せる以後の事は何等關知する處に非ず張作霖の軍事顧問は單に顧問にて是等事件とは何等關係なし

▼尾崎行雄氏 張作霖の兵を進むるに對し我和關事件以來の取極めに反せりとて我國並に聯合國より抗議せりとの事なるが事實として如何

▼寺内首相 斯かる事實の報告に接し居らず

▼尾崎行雄氏 政府は支那に對し南北妥協を勸告せりとの事なるが如何

▼寺内首相 政府は未だ斯かる手段を執れる事無し

▼尾崎行雄氏 北京より西伯利亞に向け小數の聯合國軍隊出發せりとの事なるが政府は此報告に接せりや

▼寺内首相 只今外務次官より聞き合せたるに全く訛傳なりとの事なり

▼尾崎行雄氏 過般來我國と聯合國の間に行はれたる意見の交換は既に大體一段落を告げたるが如く一時足留めされたる船舶の如きも足留めを解かれたるが如し、果して然る乎

▼寺内首相 未だ段落を告ぐるに至らず船舶に對する留は米國に對する船腹供給の必要に基けるものにして出兵問題とは沒交涉なり

▲本會議

十四日午後一時二十分開議議長は新に議席に著ける武藤嘉門氏(岐阜縣郡部)を紹介したる後伊東知也氏(國民)の東三省に於ける排日問題の質問あり、次いで日程に入り海軍に於て海軍採炭所の石炭買入れに關する法律案、勝田藏相の說明あり委員附託、此時日程を變更し朝鮮銀行法中改正法律案、明治四年朝鮮銀行の保證準備を三千萬圓とせしが爾來朝鮮の發達及び朝鮮銀行の滿蒙に進展せるに鑑み是れを五千萬圓とせんとし其結果事務進捗を圖ると共に朝鮮銀行に信託の事業を爲さしめんとするものなりと述べ朝鮮銀行法外一件の委員に合せ附託に決す

微兵令中改正法律案、木下謙次郎氏(國民)委員長として委員會の經過を報告し解決確定

◎鹽澤大佐歸任

金浦管内巡視中なりし京畿道警務部長鹽澤大佐は十四日朝南大門驛著列車にて歸任せり

◎竹内副官出張

駐劄軍高級副官竹内中佐は步兵第七十九聯隊將校現地戰術視察の爲十四日午後九時五十分龍山發列車にて開城地方に出張、來る十六日歸任の由

西鬪西鑑

此頃は西伯利問題で餘り歐洲戰場の方に目を注がなかつたが春暖と共に西部戰線ではでかい戰鬪が始まり相な▲鳥渡東部に於ける敵の兵力を調べて置くもまんざら必要のない事でもあるまい▲先づ聯國に於ける中歐同盟國の捕虜が百七十五萬と見て▲其れから東部戰線に於ける獨軍が百十萬六千墺軍が四十萬土耳其軍が百五十萬勃牙利軍が八十萬で合計五百五十五萬六千になる▲中歐兩國對露西亞羅馬尼亞の單獨講和の結果西部戰線に之等の内が輸送せらるゝに相違ない▲而うすれば其の方面の敵の兵力は大したものになる譯だが其の悉くが西部戰線に用ゐらるゝか否はまだ疑問である▲ビスマルクの外交とモルトケの戰術で獨逸が勃興した事は誰でも知つて居るが▲當時の陸軍大臣であつたローンが偉かつた事を知つて居る人は少なからう▲此のローンには孫が六人あつたが六人共皆今度の大戰に出征して五人迄戰死を遂げて▲唯六番目の孫のみ一人殘つて野戰隊附牧師をして居る相な

◎鮮鐵滯貨現況

滿鐵京管局調查三月十日に於ける朝鮮線の滯貨數は本州行き二萬九千二百零一噸九州行き六千百八十二噸合計三萬五千四百噸にして前週日曜と大差なきが唯前週まで殘存しゐたる十一月中に輸送申込みをなせし分は既に悉皆輸送を了したり尚ほ滯貨内譯左の如し

區別	本州行	九州行
十二月中申込のもの	六、三五八	六四
一月中	一一、一四三	一、四八二
二月中	七、五一一	二、六一六
三月中	二、一一八	八七五
小計	二七、一三〇	五、〇三七
釜山棧橋滯貨		
局線内のもの	八三四	六六六
合計	二九、二〇一	六、一八二

尚ほ關釜間及び山陽線の輸送力は從前の通り本州行き鮮滿發四百八十噸釜山自發百二十噸九州行き鮮滿發百六十噸釜山發四十噸なると

歸省所感

服部江南

回首飄然三十年。敝衣空對舊山川。西疇無事庭海早。春在爐邊情話前。

次某氏詩韻

雪消谿澗水初生。崖上梅林氣正晴。脈々香風花不見。樹梢先放鷓鴣聲。

◎土地家屋競賣廣告

一今般都合により左の物件を競爭入札に依り賣却す御希望の御方は下名に於て入札心得書及契約書御熟覽の上來る三月十七日午前十時から午後三時迄中央市場内入札場へ入札書提出せられ度即時開札可致候

一、垈 參拾七坪 ㊀京城府光化門通四十五番地 右地上建設朝鮮建草葺平家拾六坪貳合六勺三才

一、垈 貳拾參坪 ㊁京城府光化門通四十七番地 右地上建設朝鮮建瓦葺平家拾一坪七合四勺五才

一、垈 貳拾貳坪 ㊂京城府長沙洞九番地ノ一

一、垈 貳拾九坪 ㊃京城府長沙洞四十壹番地 右地上建設朝鮮建草葺平家拾五坪三合九勺

一、垈 百九十坪 ㊄京城府長沙洞貳百貳拾七番地 右地上建設朝鮮建瓦葺平家六拾六坪五合六勺五才

一、垈 五拾八坪 ㊅京城府觀水洞參拾五番地 右地上建設朝鮮建瓦葺平家拾壹坪四合三勺 附屬 同草葺參坪一合貳勺 同同 八坪四合五勺 同 釦丹葺參坪七合八勺

一、垈 二筆計五拾六坪 ㊆京城笠井町二百四番地 二百五番地 右地上建設朝鮮建瓦葺平家拾參坪五合五勺 附屬 同草葺四十七坪九合 同 拾餘坪五才

一、垈 五拾九坪 ㊇京城府若草町參拾八番地

一、垈 五拾六坪 ㊈京城府櫻井町一丁目百三番地

一、垈 百拾參坪 ㊉京城府公平洞四十番地 右地上建設朝鮮建瓦葺平家五坪

一、垈 四拾貳坪 ⑪京城府公平洞五拾七番地 右地上建設西洋建木造瓦葺二階建拾五坪八合一勺 外二階坪拾五坪八合 附屬 同釦丹葺平家七坪一勺 同 朝鮮建平家一坪六合九勺

一、垈 百九拾壹坪 ⑫京城府黄金町四丁目百壹番地 右地上建設朝鮮建瓦葺平家貳拾八坪二合五勺

一、宅地 壹千拾三坪一合 ⑬高陽郡龍山面孔德里 附屬 同 六坪四合八勺

一、畑 壹千六百九拾貳坪一合

一、垈 七百五拾壹坪 ⑭京城府公平洞五番地 右地上建設日本建木造瓦葺二階建參拾七坪五合 外二階同坪參拾三坪 附屬 木造釦丹葺倉庫拾三坪二合五勺 外 二階坪 木造瓦葺倉庫八坪 木造釦丹葺倉庫拾五坪 同 木造瓦及釦丹葺倉庫 同 木造瓦及釦葺倉庫 同同 木造瓦葺倉庫 同 木造瓦葺倉庫

以上

一詳細の事項は事務所に付御問合せ下度候

一現場下の說明は毎日正午迄に御申出被下候へば御案内可申上候

大正七年三月十一日

京城府公平洞五番地

中央市場事務所

電話一四五〇番

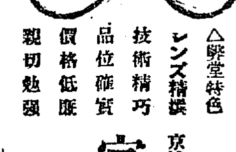
あらゆるもの無手數にて取扱申候

化粧品石鹸問屋

伊勢勘本舖

大阪市南久宝寺町三丁目 振替大阪二八二五番

眼鏡專門



△弊堂特色 レンズ精選 技術精巧 品位確實 價格低廉 親切勉强

(詳細定價表發行す)

京城南大門通二丁目二二番地

宮川大學堂

電話二九五九番 振替京城壹壹貳九番

(眼鏡製造工場子弟入用)

内科 呼吸器病 胃腸病喘息

小兒科 リユマチス

京城本町二丁目四十五番地電話二八八〇番

山田病院

院主 山田萬作

(目錄贈呈)

京城本町二丁目二十九番地 山葉樂器朝鮮代理店

販賣元 釘本樂器部

電話一二八三番

大和民兒必見史劇

乃木將軍 墓參の卷に付て

皇國の精華武士の典型として永久無限に精神的感化を與へたる軍神乃木大將日謂感動的の逸話百種の内爰に域と編を分ち墓參の卷として愈々獨技を振ひ而かも嚴かに大撮映したる模範的大權威を失はざるフヰルム今回完成本月大阪九條歌舞伎座に於て封切公開せし處果然連日滿員斯界空前の盛況を呈し殊に高位高官の士態々御高覽を賜はりし程の珍らしき大映畵に有之候隨而弊社は全國到る處に公開なし以て御高評を賜り度尚三月十五日より向ふ一週間内地他館に卒先して本社特約黄金館に上場致候條何卒奮て御試覽の程伏て奉懇願候

三月十五日

天然色活動寫眞株式會社 大阪支店

お子供樣方に是非御覽あるよう

▲初春の出世大寫眞

中央劇 加藤淸正一代記

幼年虎若の時代より 空前無比大仕掛立志美談

▼新規大作品臨時公開

贈正二位勳一等功一級陸軍大將

壯絶史劇 悲絶劇 乃木將軍 墓參の卷

說明 筑前琵琶入り 小田曉風 古櫻麗葉

三月十五日ヨリ

黄金館

[illegible]それは獨逸の捕虜が露西亞の各地に萬遍なく散在するといふ事にな[illegible]に際會したのだから放つては置けない[illegible]オムスク、クラスノヤルスク邊りの其活動は素晴らしいもので既に[illegible]ふに先づ鐵道沿線に從つて工場の機關車、停車場の事務に入り込[illegible]る手段で露西亞人の旅券を手に入れやうとする、目下其の旅券一枚の相場は百留で樂に買へて居る、[illegible]利亞に對しても無論其手を擴めて[illegible]クラスノヤルスク、ヤクーツク地[illegible]の各銀行も過激派の手に歸した[illegible]亞鐵道を領有して了ふ下心だなど[illegible]ゝ說き立てるので無知な農民など[illegible]はまんまと其を信じて闊逸頗るべ[illegible]は唯だセミヨノフ一人あるのみだが如何せんセミヨノフには兵力も勢力も足らない

◉五百圓拐帶鮮童（[illegible]署）全北群山本町興農會社の充小使なりし[illegible]

九州視察團寫眞帖（一）

耶馬溪

◆時は陽春四月‖花實併有

九州視察團の快擧（一）

◆日鮮縉紳諸彥の贊加を俟つ

進取！發展！向上的の先覺諸士が心から絶叫する殖産興業の振起、延いて帝國强兵の基は、世界大戰亂の勃發以來日に月に大きく力强くなつて行く是等に關聯したる大小の事件は新聞に雜誌に間斷なく報道せられて諸君の研究資料にはなつて居るでせうが所謂百聞は一見に如かずで我・在鮮の日鮮人にして僅かに一衣帶水とも云ふ可き新九州産業界昨今の發展擴大の眞相實情を視察見學して帝國の進運に資すると云ふ事は現下の急務として何人にも御異存のあらう筈はなき事と考へます今回京日、每申兩社が陽春四月の好季を利用して組成決行せんとする新九州視察團の計畫も要は以上の理由を具體化した微衷に外ならぬのでありまする他山の石以て大に磨く可し有爲有資の士奮つて贊同參加せられん事を希望に堪へぬ次第であります（先發準備委員上田白川記）

＝盛なり新九州＝

試みに一幅の日本地圖を繰り擴げて之れに對すれば、九州は地形上島帝國の頭腦部を成し、更らに北九州の一帶は即ち腦漿部を形成して居る。宜なる哉、九州の地到る所豐饒にして肥の穀産、日薩の林産、特に腦を出す煤炭は、年産炭量一千數百萬噸、優に全國總出炭額の過半を占有して、寔に偉大なる天然の資源である。爾か（現代的大規模の生産事業に要する動力の素因、石炭産出の大寶富なるが爲め、十數年來、北九州一帶には自然各種大小工場の新設、又は擴張を促進し來つたのである

＝揃つた三拍子＝

抑々北九州の一端が工業地として、日に月に增大發展し、殊に最近の事實として全國の大資本家が連袂先を爭うて工場地を北九州に相し、巨億の資を投じて大規模の設計經營を試みつゝある所以のものは、獨り地中の石炭の豐富なるが故でなく、海には良好なる港灣、陸には鐵道網の敷設ありて、各方面に物資、原料、生産品の集散意の如くなると今一つは工産業に緊要缺く可らざる水量の豐富なると、寔に北九州は殖産興業の好適地として交通、石炭、水量の三拍子が遺憾なく揃つて居る。宜なる哉、這次の世界戰亂に遭遇して一層激烈なる刺擊を受け、舊來各種工場の增大擴張、雨後の筍の如き新設工場の續出、現に巨億の資を投ぜられたる、宏大なる八幡製鐵大工場を筆頭に、大里、小倉、戸畑、八幡、黑崎より折尾に亘りて、僅々十五六哩の地域に五十有餘の大小工場勃起しなのである。

＝三會の開設＝

更らに南下して昨今福博經濟界一段の活氣、久留米地方各種産業界の振興等は、他山の石大に磨く可き見學視察物であるが、偶々附近に活氣横溢せる九州の中腹、一縣下に二個師團の衛戍と七都市を抱擁する福岡市に

九州沖繩共進會
化學工藝博覽會

更らに又其南方僅かに十里餘り、南筑久留米に於て

全國發明品博覽會

の開設あり、前者二會は、來る四月十日を以て、後者は十五日を以て三者何れも華々敷開會式を擧げ

九州否全國の殖産興業界に一大貢獻を試みんとする一大快擧あり、是れ即ち主催兩社が、時は花笑ひ鳥唄ふ年中の最好期節に於て

九州實業視察團

員を募集編成し、有爲有資の日鮮縉紳を網羅し、往復二週、

下關　門司　大里
八幡　小倉　福岡
二日市　久留米　熊本
鹿島　中津　耶馬溪
別府　大分

等の各要市を歷訪する所以。心ある諸君は、兩社主催視察團編成に就ての微衷の在る所を諒とせられん事を希ふ

◉注意せよ　獨探　拔目なき其活動

獨逸勢力の極東侵入と共に獨探の跳梁跋扈も甚だしくなるのは判り切つた事であるされば近時滿鮮に於ける其取締の嚴重になつた事は當然の話しで却々油斷は出來ぬ元來獨逸が塞爾維を蹂躙してハムブルグとバグダットとを連絡させ歐亞の縱貫鐵道を完成せしめて中歐獨逸大帝國を實現せしむ可く

◇◆非常な勢ひを以て進捗しつゝあり、その國民は又口々に『伯林より東京へ』を絶叫して之が實現を期待して居る危い哉東洋！而も獨探は之が目的を遂行せしむべく頻りに日本の機密を探り其活動は日に〳〵熾烈を加へて既に幾多の機密は彼等の巧妙なる手段に依つて本國に密報せられたとさへ云はれて居る殊に獨探の關係が今日の如くであつて見れば

◇◆之が取締は益々複雜を加へ在留露人をも嚴密に監視せねばならなくなつた現に既に外人にして我國の利益に反する行動を執る者が驚く可し十三人も居ると云ふ迄もなく彼等の身邊には絶えず其筋の眼が光つて一擧一動監視の的となつて居る中にも横濱に潜んで居る敵國人の一人は其の證跡も歷然たるものがあるので近く必ず檢擧されようとの事然し之に依つて獨探を根絶せしむる事は到底出來ない其れは彼等の上に更に

◇◆巨魁があつて日本、支那、印度等の各地に散在して居る幾多の獨探を操縱して居るからだ若し日本に於ける首領が檢擧された場合には直ちに之に代る可き者が現はれ巨魁との連絡が繼續されるのである最近此の巨魁の一人と見做さる可き敵國人が米國で捕縛された其の男は横濱に永く在住して居た獨逸人である――日本が戰爭に參加して日獨の

◇◆國交斷絶された時直ちに敵國人の取締を行つた當時横濱の獨亞銀行東洋代表社員であつたジョージ、ボーデンに對して大正四年二月一日內務省は『日本の治安を紊す者なるを以て向ふ一週間以內に日本を退去す可し』と嚴命した横濱署は直ちに右の命令を執行して彼れを國外に放逐した最初當局者は彼れの獨探である事に氣が付かなかつた然るに其筋の者が彼れの擧動に不審を抱いた時既に彼れは横濱を中心として日本の

◇◆軍事機密を探り本國へ密報し猶ほ又日本支那に於て巧に獨逸の軍資金を調達し全部之れを送り更らに獨字新聞を利用して旺に日本の戰爭參加反對運動を試みつゝある時だつた日本から退去を命ぜられた彼れは內地に獨探の種を無數に散布して平然と桑港に去つたのである其れが如何にして三箇年餘も經過した今日

◇◆米國官憲の爲めに逮捕されたのか其れは彼れが獨探である事を觀破せらる可き理由があつたのだ勿論彼れと横濱在住の敵國人の一人とは脈絡があり彼れの暴露と同時に今回我が官憲に依つて觀破さるゝに至つたのであるとか

京龍情死史（五）

彌生心中

・雨の日の靜けさ破る拳銃の音　男は萍に擱まつて底へ

振つた嫖客の早歸りを送つて部屋に戻つて來た桃助は胸の中を掻き亂されたやうに邪慳に煙管を投げたが、また取りあげて紅の褪た唇から白い煙を寂しく吹いた。顔は蒼ざめて、髮の解れが心のもつれをかしさけない

◆◆裲襠姿は美しいと言ふよりも寧ろ物凄く見えた、やゝ小半時ばかりもの思ひに沈んで居た桃助は思案に餘つてかぐんなりしたまゝ夜着に搯まつてその日は一日ちう部屋を出なかつたが、弱い春の陽が沈んで惠比須時の夢のやうな色が彌生遊廓を包むと彼女は

◆◆魘はれたやうな物怯をしながら店に出た『桃助さん、お座敷』と呼んだ仲居は桃助の浮かぬ容子を不安さうに眺めながら『客はあの人だが間違はあるまいね後生だから心得違ひをしないやうにね』『エ、そんな事はありやしないわ』

◆◆妾だつてあの人に別れて貰ふ心意なんだもの』『さう、それだと安心だが……』仲居はまだ不安に堪へないやうであつたが桃助が強ひて作つた笑顔を見て漸く安心したらしく『くれ〳〵もね』と念を押して階下に降りて行つた桃助は悲しさが一時にどつとこみ上げて胸が

◆◆潰れさうかと思はれた、轉ぶやうにして男の膝に縋りつくと『酒井さん許して頂戴』『妾は、妾は、死ぬ事は出來ません、いゝえ死ぬのが恐ろしくはないが、どうしても死なれぬ義理があるんだわ』桃助は

◆◆樓主への不義理、屍死んだ後の恥、斯うした數々の罪を負うて死んでは黄泉の責苦が恐ろしい『不義理の金は妾が稼替へしても調へる、死んで花實がなるものか、死ぬ事だけは思ひ止まつて下さいな後生です』と手を合せながら男を掻口說いた然し男は

◆◆啞のやうに默つたまゝ首さへ擧げなんだ、床入りしてからも二人は一言も言葉を交さなかつたが男の手には幾度かピストルが握られては又枕の下に置かれたりした

◎　◎　◎

彌生の中旬とは言へ昨夜からの雨は夜客にまで濕つて何となく襟元がひや〳〵する。もうすつかり

◆◆夜は明け放れて廓にそぼ降る春雨は白い絹の織るゝやう薄氣味惡い程の靜けさが色街を包んで誰れも深い海の底に引入れられるやうに氣が滅入つて居たが、俄然廊傍の二階から其の靜寂さを破つて拳銃の音が二發、續けさまに響いた。

◉女學校の入學試驗成績發表

二百十一名の中から百五十名合格

小さい頭をいため拔いた京城高等女學校の入學試驗の結果は愈々十四日午後三時漸く掲げられる事になつた。定刻前になると丁度學校歸りの受驗者がぞろ〳〵押寄せて來る。お父さんらしいのや姉さんらしいのが鹿爪らしく玄關から訪うて『まだ三時からです』と斷られたりして居る

◇受驗者は受驗者で躁いで見たり顏を曇らせて見たり『もし通過なかつたらどうしやうかね』と友達と心配して見たり此處數分間種々な感情に支配されながら待ち草臥れて居ると三時の鐘が廊下に響き渡る。ソレと云ふので、キー〳〵叫びながら掲示掛に馳せ著けると作法室の西側軒の下に先生が

◇順々に卷紙に認めた百五十名の姓名を繰りひろげる。いしきり沸く樣な騷ぎで『あつた〳〵』と飛び廻つて嬉しがるやら『誰某さんのものあるよ』とか『フ、ン』と鼻で笑つて歸るお父さんもある店員が自轉車で驅け著けるのもある、何ほ今年の志願總數は二百十一名で內百五十名が合格した。昨年に比べると志願者が少いが成績は

◇一般に非常に良好で體格檢査も可なり嚴密に行つたが頗るよく全體に於て數に於て低下しても粒が揃つて居る、不合格になつた內にも却々成績のいゝのもあつたが入員に定限がある爲め氣の毒でも已むを得ない、地方からの受驗者は二十八名で內七名が合格した他は全部京城龍山で占めて居たと

◉全南沖で露船坐洲　目下救助中

十三日午前群山に入港せし信濃川丸船長の報告に據れば十二日午前六時全羅南道飛渡島燈臺北東二分の一東、鳥島附近沖合を群山に向け航行中約三千噸の汽船淺洲に擱坐し救助信號を爲すを認めたれば同船より萬國信號に依り國籍を質したるに露國汽船なるを確め端艇を下し救助に努めんとせしも波浪高く危險なりしを以て群山に到り長崎領事に通信する旨信號し置き救助を中止し其儘群山に航海したるが群山警察署は直に木浦警察署に該露船の救助方を電請したり（群山特電）

▲引卸し困難（二）

滯鮮の露國汽船はヤーナー號（二千三百三十六噸）にて八日大連を出帆二千百五十噸を積込み横濱へ向ふ途中十日午後四時地理不案內の爲淺洲に乘上げ舵及び推水機を損じて擱坐し居れりされば驅逐艦來るも引卸し困難ならん（木浦特電）

◉手の長い土工　忠北永同郡黃潤面馬山里居住土工阪本治太郎（二）方に同居中なりし同じ仲間の岡金次郎（三八）は二月十日阪本の不在中同人の現金七十五圓と外衣類雜品合計百十一圓のものを竊取し逃亡中此の程甲咸憲兵分遣所の手に逮捕さる

◉大佛畫に祟らる　忠北堤川郡德山面月岳里神勒寺の僧侶金東圭（三）は保管中の同寺所藏長さ四間幅三間の如來群像の大佛畫を物にせんと企て同面道田里の金裕漢（三）と共謀し昨年八月十八日これを竊取して京城に持ち來り同郡淸風面邑里の韓鎭國（四）は事情を明し件の佛畫を京城旭町二丁目居住の田中常次郎（四）に賣りつけんとしたる一件にて何れも取調べ中なりしが田中は證據充分ならざる爲め免訴放免され他の三名は悉く有罪として同法院の公判に附され目下公判中

◉培材學堂卒業式　培材學堂本科第十回及び同高等普通學校第一回卒業式を十六日午後一時半より擧行順次左の如し
一開式　一同祈禱　一[illegible]　一勅語奉讀　一式辭　一證書授與　一卒業生總代　一祝辭　一答辭　一同祈禱　一父兄總代　一閉式

◉新義州小學藝會　新義州公立尋常高等小學校に於ては十一日午前十時より鈴木守備隊長の日露戰役に關する講話あり續いて午後一時より生徒の學藝會を開催せり

◉筑前琵琶演奏會　來る十五日午後五時より[illegible]館に於いて[illegible]琵琶會といふを催す由

◉浮かれ胡弓　大正館にては十五日より新派俳優と新派芝居の結びにて[illegible]今回の番組中お伽噺浮かれ胡弓といふ呼び物にして從來悲劇の主人公として悲劇役者として知られたる日活の立者貞二郎がお伽劇を演ずるところに妙味がある由にて活動寫眞の鳩の爪は悲劇佳境に入り來れりその他の寫眞左の如し▲實寫形動物（學術參考）▲喜劇新客劇場滑稽自惚れ掏び浮かれ胡弓▲活劇鳩の爪▲舊劇江戸前七五郎

▲黃金館　十五日より新寫眞と全部差替へなる筈で今回は新舊劇正に乃木大將及び加藤清正傳にて下いづれも興味物なれば生憎の見物も多かるべくその他の寫眞としては活劇野火全四卷滑稽竄法主義、滑稽二十世紀スミト等ある由

▲稻荷座　浪花節京山若丸、原天樂一行にて開演中なるが連夜好評を博し居れり

▲新らしい女　有樂館では十三日から全部寫眞を差替へたるが今回の呼物となるべき寫眞は新喜劇新らしい女といふ小說の劇化と泰西人情劇[illegible]其の外に喜劇ヤカンナ八號、滑稽便所試めし滑稽ヤクザ者等あり

櫻御殿

大阪 霞の家主人

第百七十四回 座敷牢(十三)

「母様、お在でゞございますか」

清之丞は襖の外から呼んだ、銀杏は八百石の御母儀さまと立てられる身上になりながら、昔を忘れず健氣にも絲を紡いで居た

「清之丞でないか」

「御意にございます」

「まあ、お入りなさい、わしも退屈をして居る處ぢや」

「いや、斯うしては居られません、これから登城致します」

「はて、今日は非番でないか」

「非番の筈を若殿からお呼び出しでござります」

「急のお召しと見ゆる」

「御意にござります、それにつきまして」と徐に襖を引き開けた

銀杏は一目見て吃驚する

「はて、物々しい扮裝をしてお在でぢやの」

清之丞は白小袖に麻上下をつけて居た

「斯様な事を申し上げては恐れ入りますが、或はこれが現在の御暇乞ひになるかも知れません」

「何んと云やるな」

「關ケ原の合戰で、討死をしたと思召し下さりませ、手前、若殿の御不興を蒙りました」

「ほゝ〜」と銀杏は顔の色を變へる

「然し、御安堵下さいまし、如何やうになりましても、忠義の道は忘れません、また武士の道に外れた事も仕りません」

「すると御前で切腹でも爲やるのか」

「如何やうになりますか、萬事は御沙汰次第でござります、二十八年の長の間御苦勞ばかりお掛け申して、つひに一度も御厚恩を送り奉らず、君命とは申せ、こゝに敢なく命を捨つるは、血を嘔く程ご殘念に心得まするが、これも時代でござります、わたくしの無いあとは、與惣治を力と思召して、お心安く御一生をお送りなさいまし、與惣治は下賤の者でも、清洲から召しつれ、忠義を忘れぬものでござります」

「悲しやの、さらばこれが今生の別れでござるか」

「お詫は未來で致します、萬事は與惣治に申し付けてござります」

與惣治は年久しく松尾家に仕へた若黨で、今は用人頭に取り上げられて居る、年齢は三十八、眞直に歩む外、何方を見る目も持たぬ忠義一圖のものであつた

「わしもお前の母、如何やうの事があらうと、忠義の二字を忘れさへ致さずば、嘆き悲しみは致さぬが、斯うした時に嫁女があり、一人の孫でもあつたならばと、愚痴らしく思ひます、これが別れとあるからは、切て盃が致したい、それほどの隙があらうか」

銀杏は涙一滴溢さなかつた

「その用意は申し付けて置きました、只今與惣治が持つて參りませう」

云ふ詞の終らぬ中に、與惣治は銚子土器を持つて出た、後から年の若い用人が、折敷に載せた干鮑を運んで來る

「おゝ與惣治、思ひがけぬことが出來て、お前にも苦勞を掛るの」

「何事も仰せ遊ばしますな、旦那様のお心は神さまが御存じでござります」

「では、お母さまから」

清之丞は土器を母にすゝめた、目には一滴の露も持たぬが、心には萬斛の涙を湛へて、土器持つ手がわな〜〜慄へる、壯い用人が酌をする

その酒の上に映つたは清之丞の姿であつた、それが世にない良人の顔に生寫しである

西洋料理すき燒 おいしい事京城第一との高評を博し居り候 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

日報俳壇

●京城二葉會詠草● 蕉

病床に及ぶ日脚や水仙花 同
驛に入る汽車濡て夕時雨 同
北風や鶺來鳴く厩根の上 同
秋風や白楊の葉に森の葉に 同
寶殘る馬首垂れて時雨哉 鋒村
風呂吹や一切づゝや夜の雨 同
籾摺る染屋が庭の小春哉 洗耳
脚遍る乘合馬車や夕笑 同
眼に沁みる燈臺の灯や秋の海 竹齋
寒梅や佛齒を覗ふ山の寺 京麺家

車站

客曳の提灯寒く並びけり 孤舟
柚味噌に佗ぶ夜の風雨哉 寶劍

●京義線の列車中にて●

保線工夫に陽炎レールは長し 淡水
山遠く突兀として陽炎へる 同
堆き驛の滯貨や陽炎へる 同
陽炎や畜道に落つ汽車の煤 同
陽炎や學童降りし驛の晝 楚川
丘を墾て降る小家に陽炎へる 同
陽炎や道より低き朝鮮家 同
陽炎や唐紙打つ想の土挨 同

新刊紹介 (到着順)

▲寶鏡(三) 歴代天皇と神祇崇敬(谷村静司)世寄談(川口天民)道は近きにあり(加藤咄堂)外に官幣社由緒、心學人の道、仁川神社由來記其他諸神彰發上の趣味ある記事多く附録に大祓圖あり(二十錢京城南山町一の五共社)

▲臺灣教育(三月號) 二十錢臺灣總督府民政部學務部内共會

▲養鷄と園藝(三月號) 十五錢大阪市東

▲國民法律(三月號) 實業法律を改題したるものにして面目一新し法律問題の總てを網羅するに至り資料豐富なり(一年分[illegible]東京麹町紀尾井町共社)

▲武勇少年(日本少年春季増刊) 表紙の口繪の美しいのと三十一篇の少年給入史話は頗る面白く歴史小說、傳奇、情小說、仰天子、挑水、呵々學少年史劇二篇其他懸賞作文「城」の發表あり(十三錢東京京橋實業之日本社)

▲獨逸語青年(三月號) 二十錢東京本郷龍岡町三四共社

▲諸の友(三ノ三) 十五錢東京麹町區飯田町三の九龍學道館社

▲東亞の光(三の三) 二十六錢東京小石川原町七八東亞協會

▲家庭のローマ字(三月號) 五錢東京麹町區有樂町一の三ローマ字ひろめ會

▲刀の研究(四の二) 二十五錢東京下谷區茅町二の三三南人社

讀者の領分

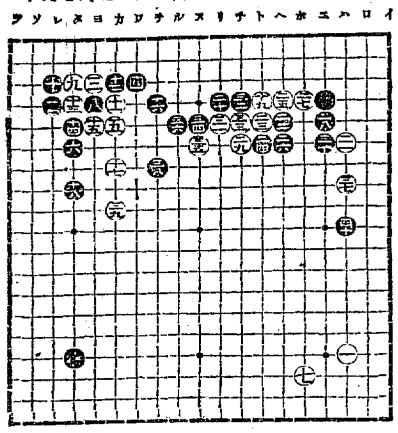
▲先日頃より當欄にて琵琶會の彌次君の言、劇場取締と生の言は餘り喧嘩腰にて度々貴重なる紙面を潰す如きは無意味なり今少し各自冷靜の言を爲す可し主催者側の鼻に掛けたる態度は愼みて可なる可く彌次其のものゝ會の内情の事とは別問題なり忠告するならば時と場所ある可きなり(公平生)▲近來晝夜の別なく盗難に遭遇するもの頻々別して初音町より四軒町邊の物騒は近頃夥し各自周到なる注意を要するは勿論なるが目下同方面の住民は競々として碌々安眠も出來ざる程なり當局者の反省を促す(不安類正生)▲近頃電車の運轉中車掌と運轉手と反目視するものありて運轉中停車して物の言ひ爭を爲すまゝありて無駄に時間を浪費する頑役たる者少しく心して改めてほしい(非文明排除生)▲「玉山」先生に御願み申す小生明治五年九月十九日拂曉出生男子御閑暇の折生の運命御鑑定願ひたし讀者の欄分欄にて承知御依頼申上候也(元山愛讀者)▲暖かい氣節の到來は嬉しう御座いますが著物の垢の目立つのには全く閉口します新調すれば好いのですが慈う諸物價が騰貴しましては安月給や裏長屋住居では全くやりきれませんよ……と水道端での評定をそのまゝに(尤骨太郎)

棋戰

十番碁第八局の(二)

三段 山平壽氏
二子 大久保雅彦氏

○二一 ホの六
●二二 への五
○二三 トの五
●二四 トの六
○二五 への四
●二六 への六
○二七 ホの四
●二八 ニの五
○二九 チの六
●三〇 ニの六
○三一 リの五
●三二 チの四
○三三 チの五
●三四 ヌの五
○三五 ヌの六
●三六 ルの五
○三七 ハの八
●三八 チの七
○三九 カの九
●四〇 ハの十



大阪朱式市電 日本郵船 同新株 堂島米株 東京株式

大阪期米 當限寄付 十四日後場

京日案内

▲普通五十錢一回前金 番外金一圓一回前金

醫師代診生至急募集 希望者は履歷書並に寫眞添附ありたし 平壤 石川病院 516

配達人至急募集 希望者本人來談あれ但し市内確實なる保證人を要す 明治町二丁目 町田新聞部 518

看護婦及看護婦見習入用 南大門通(農銀裏) 司生堂醫院 501

配達人至急入用 希望者は本人來談あれ 黄金町二丁目 京城新聞社 513

店員入用 但し保證人を要す 龍山元町二丁目 三並金物店 (電話三二三〇番) 512

古服高價買入 御報參上 黄金町二丁目電取次二二三〇 木村洋服店 482

讓店 拾年の菓子老舗急讓に付居據の儘讓渡す場所は平壤府本町 希望者は京城日報平壤支局 499

名刺印刷工入用 京城長谷川町 百五番地 電話二一〇五番 中田普成社 但經驗ある者 506

讓店 京城吉野町一ノ九一 専賣菓子秘傳附 澄陽堂 504

店員 十五歳廿一歳 廿五歳各一名入用 要保證人 本町 ウツボヤ書店 486

古著古服 高價買入御報參上 黄金町二丁目電取次二〇三 木村屋 480

番外 手代三名 店員五名 至急入用 希望者本人來談あれ 京城本町二丁目一二〇 大橋商店 520

市内某商店にて書簡に堪能なる人を求む 希望者は履歷書送附あれ 519

雜貨店員入用 高等小學卒業程度自十七才至十九才 履歷書携帶午後三時迄に乞來談 西大門町 東西煙草商會 地方の店 515

造林の好期節 落葉松苗販賣 多少共御用命を乞ふ 京釜線芙江 高瀨苗圃 517

店員募集 數名 但本年高等小學卒業者の著夜間通學の便を與ふ希望者は直接本人來談あれ 本町一丁目 山岸天祐堂 507

礦物定量分析 太平町二丁目電長一二五三四 朝鮮公論社横小路 坂元分析所 492

年金恩給 最長期即時立替 ▲四年迄保險不要 利極安前引なし ▲商品陳列館表門前 京城永樂町 江州屋本店 44

店員募集 十五歳より十八歳迄の計算事務に熟達の者數名及廿八歳迄の經驗者二名希望者は履歷書携帶 市内に保證人要二名 京城長谷川町 近澤洋紙店 488

社員採用 男子二名年齡廿五歳以上 女子三名 但商業に經驗及志望有者確實なる保證人要す(面談は午前)一時半 黄金町二 ミシン會社 505

産婆開業(元濱崎助手) 電話一〇五 京城櫻井町二丁目二二〇 遠山ミチヨ 509

恩給年金立替 三年分迄無保險 金光教會裏手 京城若草町 電話二三九一番 國江商會 481

礦物定量分析 本町二丁目五三京城銀行横入 電話一六二五 坂元分析所(出張所) 491

議政府 積合牛馬車毎日差立 揚州抱川永平行荷物 田舍行專門運送業 電話二二九〇一 京城 (二)運送組 471

中古ミシン買入 御用の方は電話又は端書御一報參上 京城鍾路二丁目 公園近 電話二三二八 楠商店 463

菊苗 弊場は十數年の實驗に依り他に類例なき珍種を無數に蒐集し之が頒布に當りても責任を以て充分に 名鑑錄三錢切手封入申込次第進呈 大阪市外天王寺驛南一丁目 猪子園培養場

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町電話四三〇番 五八五番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

橋本齒科醫院 京城南山町三丁目(電氣會社横路入る)電話二九二〇番 日本齒科醫學士 橋本清次郎

最新刊

實用的強健法 伊藤銀月 九〇
規約の子守法 服部北溟 一、〇〇
住宅家相之話 上 鶴野山一郎 一、三〇
茶話 讀賣新聞社 八〇
日蓮宗派通話集 宗典研究會 一、二〇
莊子私察並淮義 土屋弘 一、〇〇
秘訣口上手よせの術 双龍野先生 一、二〇
文字の教へ方 後藤朝太郎 一、五〇
するめ 大庭柯公 一、三〇
米國物語 成澤冷川 一、二〇
方志青年の修養 足立栗園 四五
一九一九年現代の八大強國 長田新暉 一、〇〇
支那の眞相 大河平隆光 一、七〇
甦れるまで 傳久少佐 一、二〇
小生の手紙 大町桂月 一、三〇
小說の作り方 徳田秋聲 五五
株式市場必勝術 一、〇〇
商業學校受驗及試驗秘訣 學問研究會 六五
誰にもできる蓄電池及充電機製作法 一、三五
兒童の文章力に於ける教方指導の實際 北條氏 一、五〇

大阪屋號 京城本町

百圓進呈 りん病 ばい毒 帝國醫科大學 大阪 多田商會

にせ物と好奇 大阪有田 南大門外 大阪三休橋 京城南大門外停車場通 ドラッグ商會

京城龍山等各地に僞物有御注意

尼崎汽船仁川出帆 下關神戸大阪行 群山木浦釜山
神山丸 三月十八日後四時
秀吉丸 三月廿一日後四時
君代丸 三月十九日後四時
大有丸 三月廿五日後四時
仁川海岸通 尼崎回漕部

日本郵船仁川出帆 大連行、天津行
相模丸 三月二十日正午
三河丸 三月廿一日
高砂丸 三月卅一日
仁川海岸町 堀回漕部

大阪商船株式會社汽船出帆廣告 仁川出帆
神戸大阪行(群山寄港) 須磨丸 三月廿四日後五時 日清丸 三月 日後五時 福州丸 三月 日後五時
木浦、釜山、嚴原、鄕ノ浦、長崎行 安東丸 三月二十一日正午
鎮南浦、大連行 安東丸 三月十六日正午
信濃川丸 月 日後二時
安平丸 三月二十一日後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宮島丸 三月十六日後九時
上海、基隆、打狗行 湖北丸 四月二日前六時
大連出帆 基隆丸 月 日後四時
大阪商船株式會社仁川支店

朝鮮郵船 本社京城 仁川港代理店 木浦港代理店 釜山港佐藤町 元山出張所 京城南大門通 松原運送店
大阪行(釜山門司經由) 平壤丸
元山ヨリ釜山隊門行 元山丸
第二高運丸 京畿丸
元山ヨリ江原道寄港釜山隊門行 成鏡丸 忠清丸
濟州島行 盈德丸 江陵丸
浦項行 慶興丸
濟州島行 昌平丸
木浦ヨリ多島名島行 南陽丸
仁川木浦行 慶興丸
晋州丸 金海丸
河岸行 全州丸 南陽丸
三十一日ハ休航 其他結氷ノ爲メ休航行ノ事アリ
濟津行(大阪神戸門司ヨリ) 廣平丸 江原丸